

第9回

東京玉翠会



グッバイ!旧校舎
ハロー!新校舎



2. Kitsu no

と き 平成3年7月13日(土)
午後5時~7時30分
ところ 赤坂プリンスホテル
クリスタルパレス

おかげさまで30周年。

穴吹工務店はおかげさまで、今年株式会社設立30周年(創業86周年)を迎えました。「快適な生活空間の創造と提案」をスローガンにATDシステムなど、独自のトータルシステムで高品質なマンションを実現してまいりました。私たちはこれからもお客様ひとりひとりに「これからの暮らし」について考え、新企画を提案してゆきたいと考えております。「快適な暮らしを創る」穴吹工務店をこれからもどうぞよろしくお願ひ致します。

こころ豊かな新時代へ。

30TH ANNIVERSARY



本社ビル・インテリジェントタワー

快適な暮らしを創る

穴吹工務店
ANABUKI

〈設計・施工〉 建設業許可建設大臣(特・63)第1476号 建築業建設大臣(特・64)第1545号 (社)日本建築協会の賛助会員 (社)日本リフォーム協会の賛助会員
本社：〒760 高松市藤塚町1-11-22 TEL：(0878)35-7111(代表)
支店：東京・横浜・大阪・岡山・広島・高松・松山・徳島・高知・福岡・鹿児島
営業所：新潟・大宮・船橋・神戸・松江・徳山・丸亀・新居浜・長崎・熊本・大分・宮崎

穴吹グループ
ANABUKI

株穴吹工務店 穴吹住宅建材株 株香川県生コン 香川アサノコンクリート株 綾上工業株 株加茂砕石 株穴吹ヴィラサービス 株穴吹エンジニアリング アナブキコーポレーションオーストラリア 株穴吹トラステート 株穴吹コミュニティ四国 穴吹興産株 株穴吹ハウジングサービス 株穴吹人材派遣センター 穴吹エンタープライズ株 穴吹コンピュータサービス株 株ブランドウ穴吹 株穴吹スペースプランニング 学校法人穴吹情報ビジネス専門学校 学校法人穴吹電子ビジネス専門学校 学校法人穴吹コンピュータ専門学校 学校法人穴吹国際ビジネス専門学校 専修学校穴吹デザイン専門学校

株穴吹工務店ミサワホーム事業部 株穴吹工務店不動産センター ロイヤルパークホテル高松 第一イン高松 岡山パークホテル 穴吹トラベルセンター 穴吹フィットネスクラブ ヴィラ塩江 穴吹コンピュータ教室 穴吹進学ゼミナール 穴吹国際交流センター 穴吹ビズメディアネットワーク

目次

式次第	2	
平成2年度収支計算書(監査報告)	3	
ごあいさつ 母校校舎・玉翠会館の竣工を祝って…玉翠会会長 綾田 整治	4	
教える学校から学ぶ学校へ……高松高等学校校長 塩井 敏治	6	
特集・グッバイ/旧校舎 旧校舎不思議解明アドベンチャー	8	
特集・ハロー/新校舎 新校舎に生命を吹き込みたい……		
……………第83代生徒会長 東野 伸也	16	
トピックス 芝草宇宙投手(日本ハム)	22	
どおっしょんな 卒業生からの近況ミニレター	24	
寄稿 過ぎし日の思い出	森 慶太郎	28
つれづれなるままに	植田 弘	30
電話が進化する	守谷 健弘	32
50年ぶりの恩師との再会	藤井 勲	34
short story「グッスリ」	河江 一仁	36
偶感「老後三要」	横田 信應	38
ピラミッドの上で万歳——アメリカ・メキシコ旅行記——	松本 僑子	40
新婚さん演歌デビュー	多田 英孝	43
25年後	和田 忠彦	44
J R 四国への熱き想い	石井 全	46
「県女のクラブ」と少年野球団	三好 隆雄	48
ドボクにおいて	渡辺 泰充	51
高松中学校校歌	52	
高松高等女学校校歌	53	
高松高等学校校歌	54	
朝日輝く(校友会の歌)	55	
寄贈図書目録	56	
第9回東京玉翠会総会幹事を担当して	恵比須 忠	57
東京玉翠会会則	58	
東京玉翠会役員名簿	61	
東京玉翠会高中部会幹事名簿	62	
東京玉翠会晩翠部会幹事名簿	64	
東京玉翠会(高高)幹事名簿	65	
物品寄贈会社	68	

式 次 第

一、開会の辞 司会 山本千津(昭和42年卒)

一、東京玉翠会会長挨拶 大島 功氏(昭和5年卒)

一、議 事

1. 報告事項

(1) 会計報告

(2) 監査報告

一、来賓紹介

一、来賓挨拶

高松高等学校校長塩井敏治先生(昭和25年卒)

玉翠会副会長 井上房一氏(昭和8年卒)

一、乾 杯 香川県知事平井城一氏(昭和15年卒)

一、懇親会次第

1. ビデオ上映・ビンゴゲーム 渡辺泰充(昭和42年卒)

2. 母校図書購入資金贈呈

3. 次回総会担当幹事紹介(昭和43年卒)

4. 校歌斉唱

一、閉会の辞

平成2年度収支計算書(案)

自 平成2年4月1日
至 平成3年3月31日

東京玉翠会

会長 大 島 功

<特別会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
会 場 使 用 料	5,888,733	総 会 出 席 会 費	6,026,000
会 場 運 営 費	2,081,270	男 子 514人	
総 会 準 備 費	1,610,477	女 子 346人	
母 校 寄 付 金	150,000	寄 付 金 収 入	344,060
一般会計への繰入金	447,393	雑 収 入	3,807,813
合 計	10,177,873	合 計	10,177,873

<一般会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
支 部 交 付 金	280,400	前 期 繰 越 金	4,490,332
通 信 費	36,260	年 会 費	684,000
事 務 用 品 費	4,371	預 金 利 子	124,568
立 替 金	200,000	特別会計よりの受入金	447,393
次 期 繰 越 金	5,225,262		
合 計	5,746,293	合 計	5,746,293

次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店

普通預金 No.125044 1,277,131円

定期預金(スーパーMMC) 満期 3.6.28 1,090,000

定期預金(スーパーMMC) 満期 3.11.21 1,000,000

定期預金(スーパーMMC) 満期 3.11.21 1,820,000

(ロ) 手持現金 38,131

(5,225,262)

脚注 東京高中会並に晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支計算書について監査の結果、適正なることを認める。

平成3年5月17日

監事 鳥 羽 忠 臣 ㊟
同 鷹 尾 律 子 ㊟
同 鴨 田 昭 代 ㊟



ごあいさつ

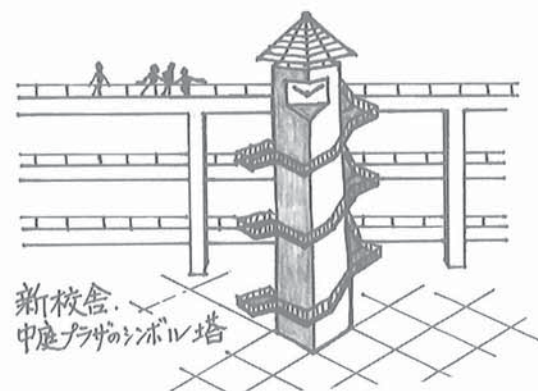
母校校舎・玉翠会館

暑中御見舞い申し上げます。

本年もまた、高中会・晩翠会・高高会の三部合同による東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

日頃玉翠会の運営に対してご理解とご支援を頂き、感謝致しております。また、この度は、大島東京玉翠会会長様をはじめとして役員の方々、とりわけ今回の幹事を担当されました昭和42年卒の皆様方の用意周到な準備と努力に対し、深く敬意を表するところであります。

さて、母校の高松高等学校におきましては、本年1月に待望の校舎並びに同窓会館（玉翠会館）が竣工致しました。そして6月15日に「落成記念式典」、つづいて「玉翠会館披露の集い」が挙行されました。この総会に御参集の皆様方の中には、既に記念式典においで頂いた方もおありのことと存じます。高松市の中心部に位置して、環境の調和といい、外観の立派さといい、設計・設備の美しさといい、実に快適で堂々としたものであります。昭和57・58年に基本設計にあたられた日本建築学会学校建築部会の東京都立大学名倉教授（当時）を中心とした方々の努力と理想の結晶である事は申すまでもありませんが、それを現実のものとした平井知事様はじめ県当局のご苦心



の竣工を祝って

玉翠会会長 綾田整治

と並々ならぬご配慮、工事担当の方々の奉仕的なご努力、そして、玉翠会会員の皆様の厚いご支援は唯々有り難く感謝の他はございません。

玉翠会館については、新校舎の一部として5階に建設されており、これは全国的にも珍しいとの事でございます。まず、500名が収容できる中ホールは、倉庫を含めて446.78㎡、会議室兼事務室49.48㎡、和室20畳と22.5畳の2部屋、そしてエレベーターが1基ございます。

中ホールは玉翠会代議総会が行えると共に1学年が集会出来る規模であります。映写設備もあり、簡単な演壇も用意出来ます。平成2年・3年の卒業記念品として椅子500脚に机を寄贈頂きました。

また、小会議室・和室の利用価値は高いと聞いております。これらの「利用規程」が平成2年度の理事会・代議員会で承認され、当分の間これに基づいて運営する事が決定されました。この点でもご協力頂くと共に、同窓生の皆様の集い・親睦の場として活用されますようお願いしております。

最後になりましたが、東京玉翠会会員の皆様の益々のご発展とご健康をお祈り申し上げます。





ごあいさつ

教える学校から

アカメガンが芽吹いていました。旧正門から新校舎の間に設けられたフェンスに沿って植樹したもので、その赤みがかったやわらかな芽が実に新鮮でした。その垣根のむこうには、50有余年の風雪に耐え、しかも戦火の中を生き抜いた「昭和の校舎」が重厚な感じで建っていました。そこだけがシンと沈んで見えたのは、そこに学んだ者の惜別の情からでしょうか。

その後、東京玉翠会の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

待望久しかった新校舎は、1月下旬に完成致しました。白を基調とした5階建ての外観はまさに白亜の殿堂という感じであります。2月下旬にその殿堂に移りました。在校生達は旧校舎を後にする時、長い間の壁の汚れをとり、黒板を丹念にふき、床を掃き清め、残った机を整然と並べていました。そして先輩の方々の手のぬくもりが残っているであろう教室の引き戸に手を触れ最敬礼をして出て行った者もいたそうです。まさにこの心こそ、先輩の皆様方の築かれた伝統の重みと言えましょう。

3月8日の卒業式の午後には、生徒会の主催で“昭和の校舎を送る集い”を企画しました。思い出多い校舎の、いろいろな表情をとらえたスライドを上映したり、合唱

学ぶ学校へ

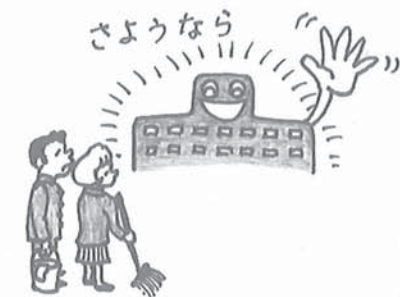
香川県立高松高等学校校長 塩井敏治

部・吹奏学部・オーケストラ部合同での惜別の演奏会を開催致しました。当日は、高高にゆかりのある者の心を反映するかの如く雨になり、既に電灯のつかなくなった旧校舎図書室で、すっぽりと夜につつまれるまで演奏会は続きました。生徒の作詞・作曲による“校舎を送る歌”は旧校舎への万感の思いがこめられていましたし、高中・県女・高高的校歌メドレーも図書室を埋めた多くの先輩や在校生達の心の奥底にしみわたる様なものでした。

今、生徒達は、快適な学習や生活が送れる様、教科教室型の教室配置になっている建物の中で、教える学校から学ぶ学校へという理念のもとに、校舎に魂をいれるべく精進致しております。

皆様の母校に寄せられた熱い思いによって出来上がった玉翠会館は、会員の方々の親睦はむろんの事、生徒達の諸活動にも利用させて頂いております。本当にありがとうございました。

終わりにりましたが、会員の皆様方のご活躍と東京玉翠会の益々のご発展を心より祈念し、ごあいさつと致します。

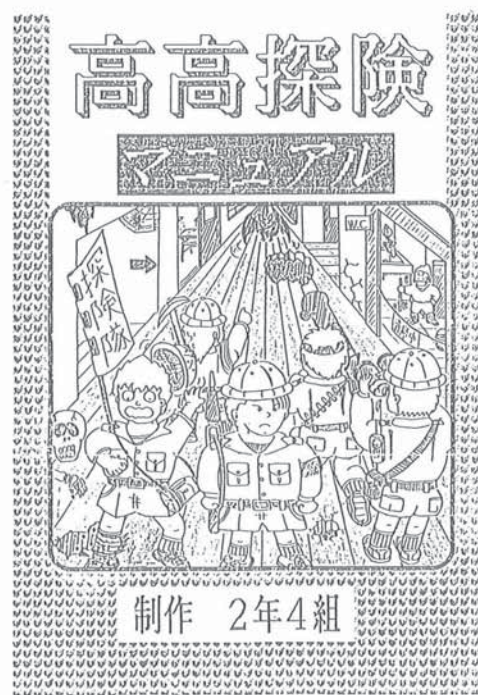


特集 グッバイ！旧校舎

旧校舎不思議解明アドベンチャー

新校舎がこの度完成し、懐かしい旧校舎は近々取り壊される。生徒の間では若干取り壊しに反対の声もあるが、老朽化等の問題もあり、やむを得ない状況である。

昭和15年落成以来（当時は女学校）50余年、幾多の青年男女を育てた校舎は、生徒数の増加等々により増築・改修を重ねて来た。そのため、校舎内外に数多くの矛盾した設備が見られる。在学中何げなく見過ごしていた不可思議な設備を紹介しよう。



CONTENTS

1. はじめに
2. 高高校舎図
3. 高高の謎
4. 探険隊の通った道
5. 映画「高高探険」
・ INTRODUCTION
・ キャスト
・ エピソード
6. 高松高校沿革
7. 高松高校増築之図
8. 編集後記 a

なお、本稿は昭和63年当時、2年4組の探究心旺盛でかつ暇人であられた諸君が調査・発行された“高高探険マニュアル”から抜粋させて頂いた。大変な力作(?)に心から敬服する次第である。

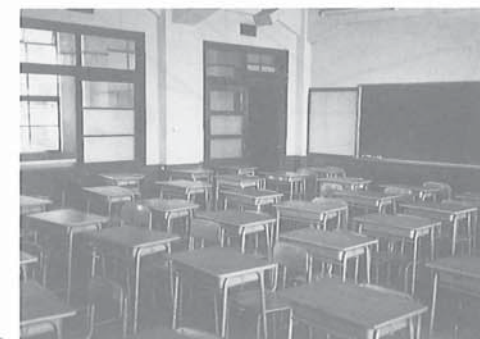


↑中庭の楠、幹にはびっしりと苔がむしっている。この大木は旧校舎付近のメモリアルゾーンへ移植され、旧校舎と新校舎をつなぐ貴重な接点に。⇒昭和を生き抜いた旧正門校札。この旧正門は旧校舎取り壊し後も保存される。



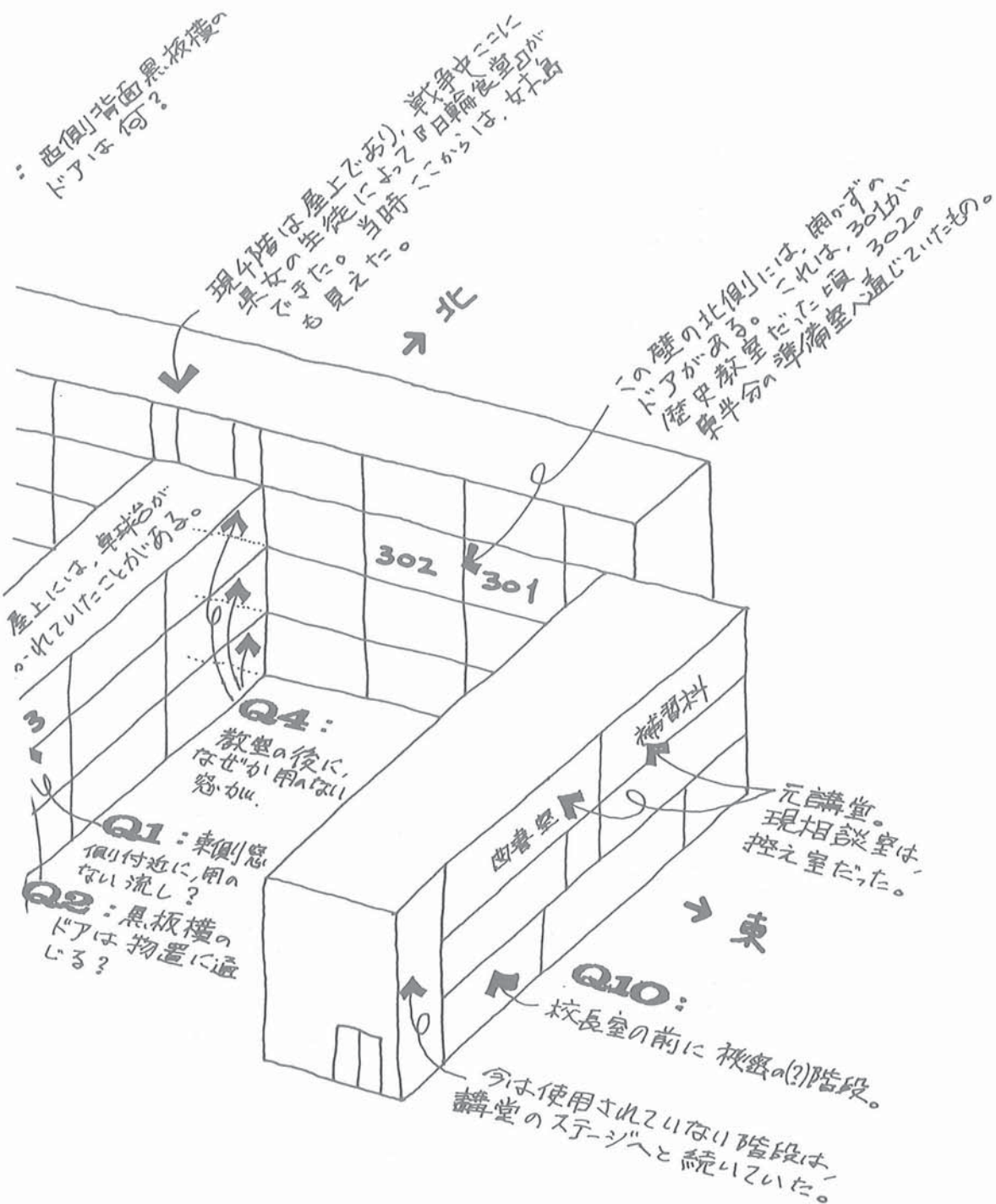
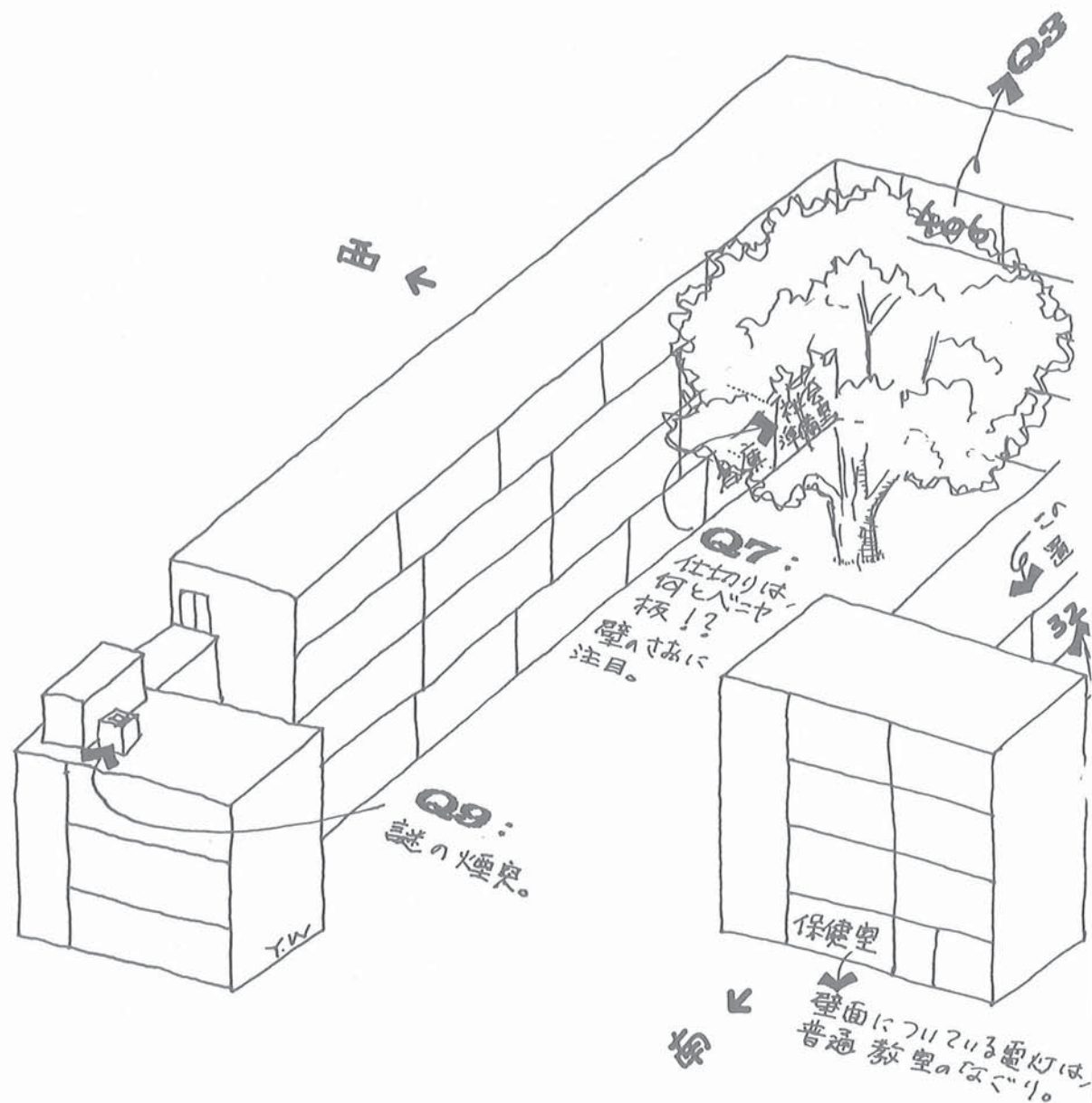
←旧正門付近のソテツの木。この一面はメモリアルゾーンとして残され、この3月8日行なわれた「昭和の校舎を送る集い」に参加した方々のメッセージが入ったタイムカプセルが埋められる。カプセルは2001年3月8日に開けられる。

旧校舎を去るにあたり、もはや使うことのない教室が生徒たちの手によって、掃除され磨きあげられた。一部の教室では、このように机と椅子が整然と並べられている。



思い出の学舎

高高旧校舍図



問 題

〔ホームルームの謎〕

・323教室（中棟3階南）

Q1：東側窓付近に用のない流しがある。何故か？

Q2：南側黒板横にドアがあり、中は物置の様である。中に何があるのか？

・406教室（北棟4階西）

Q3：西側背面黒板横のドアは何なんだ？

・121・221・321教室

Q4：中棟北側の1～3階の教室。何故か教室の後に用のない窓がある。

・北棟教室

Q5：北棟教室にスピーカーがある理由は？（写真1）

〔職員室の謎〕

・数学科職員室付近

Q6：何故か多くの部屋が密集している。（図1）その歴史的背景は？

図1

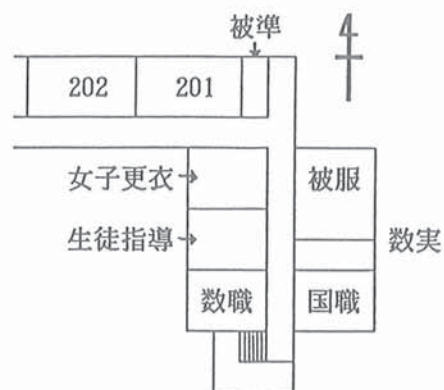
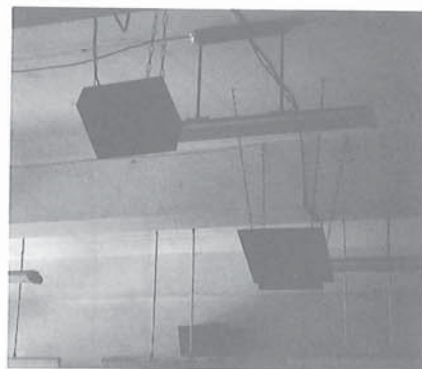


写真1



・社会科職員室

Q7：1階西棟の社会科職員室と家庭科職員室はベニヤ板で仕切られている。何故こんなチャチな事をしたのか？

グッバイ！旧校舎

〔廊下その他の謎〕

・露出したパイプ

Q8：1階廊下の天井に数本のパイプが走っている。何なんだ？（写真2）

・煙突

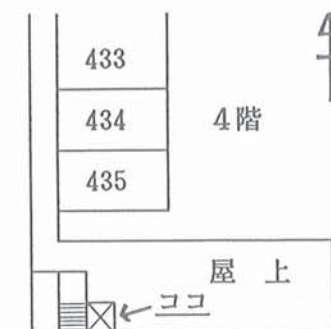
Q9：食堂のある棟の屋上の片隅に煙突が2m程突き出している。あれは何だ？

（図2）

写真2



図2



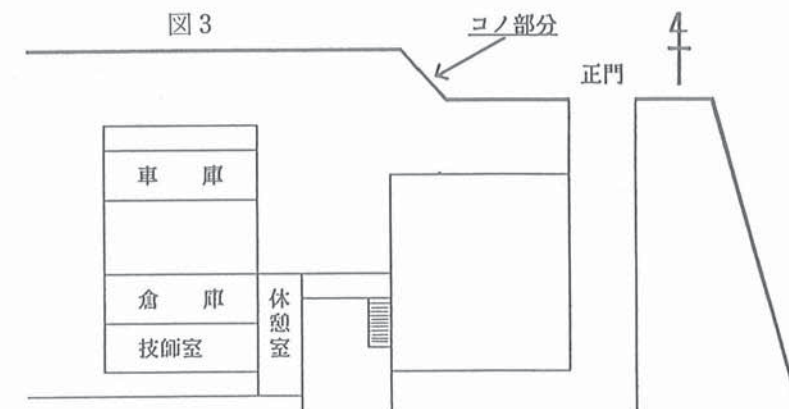
・校長室前の階段

Q10：校長室の前には狭い階段がある。何の為の階段か？

・正門の壁

Q11：正門西側の壁の一部は何故板張なの？（図3）

図3

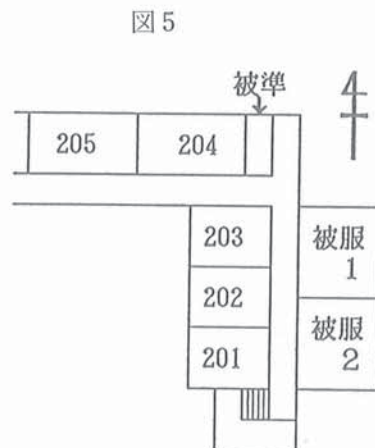
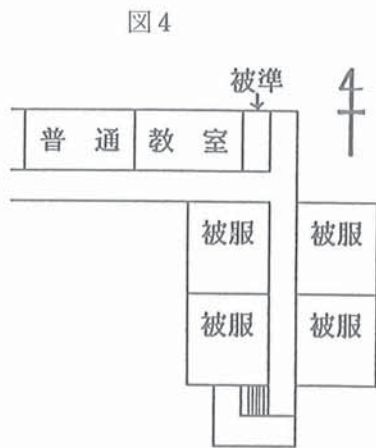


・職員用自転車置場

Q12：昔、木造倉庫があったとか。何の倉庫かな？

解 答

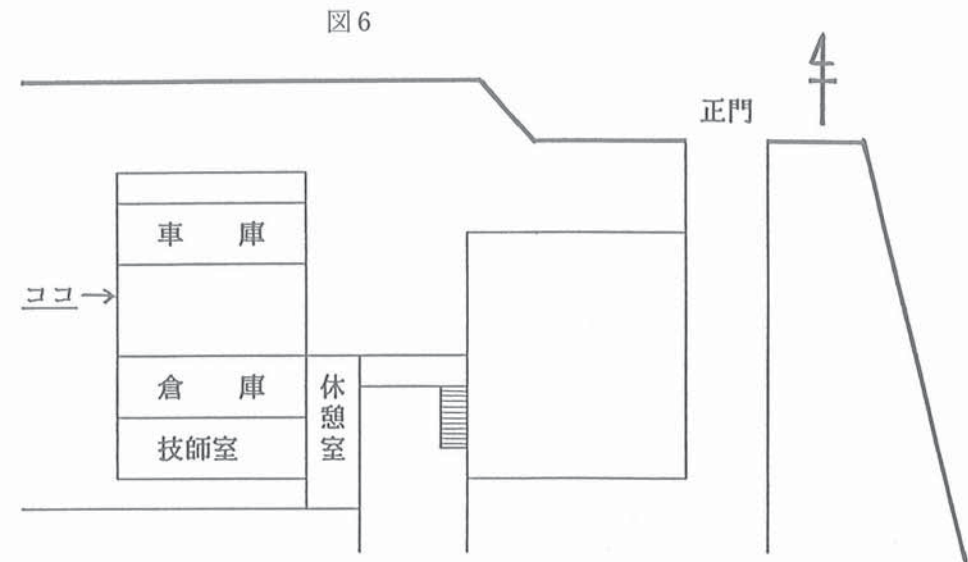
- A 1：ここは昔、生物準備室だったんだよ。授業の準備で流しが使われたのである。
- A 2：1つ鳩のフン、2つホルマリン漬けの標本。ズバリ、生物準備室の物置だったのだ。(鳩のフンは関係ない)
- A 3：教室の横に階段がある。その階段裏のスペースは有効利用の為物置になっている。ドアはその出入口という事。(セコイ！)
- A 4：先輩諸氏はご存じと思うが、この中棟は継ぎ足しなのだ。その際もとからある北棟の窓がそのまま残ったとの事。(つまり予算の問題である)
- A 5：早い話、五番町西宝線に面している為、ヤカマツイから。
- A 6：昭和15年…廊下を挟んで被服室が2つずつあった。(図4)
昭和34年…廊下の西側が3室に分割された。その為、真中の生徒指導部室には壁をくり抜いた跡がある。(図5)
その後…図1のようになった。



- A 7：予算の都合。但しこれだけでは満点じゃないよ。その歴史を語らんとおう。
昭和15年…この2室はつながっており洗濯室であった。その為、社会科職員室には最後まで着物を吊るすフックが残っていた。

昭和35年頃2分割、39年頃「洗濯室と国語職員室」、59年頃「社会科職員室と購買」、そして60年代から「社会科職員室と家庭科職員室」となった。何と輝かしい(?) 高高の歴史よ！

- A 8：何と送電管である！（別に驚く事はない）
- A 9：昭和30年代には食堂に大きなカマドがあり、マキでご飯をたいていた。そのため煙突なんだよー。
- A 10：校長先生の秘密の階段？ 昔は3階が講堂になっており、校長先生他の講堂への通路であった。
- A 11：ワジャ、ワカラン！
- A 12：あった！ 中にゴエモン風呂があり宿直の先生が愛用してたとか。(図6)



12問中8問以上正解の方は本日（7月13日）42年幹事までご連絡下さい。
「良く出来ました」という事で「イイ子、イイ子」をしてあげます。
特にQ11のわかる方は「イイ子、イイ子、イイ子」をしてあげます。

グッバイ！旧校舎

特集 ハロー！新校舎

新校舎に生命を吹き込みたい

第83代生徒会長 東野伸也

50余年の伝統を誇る旧校舎に別れを告げて、美しくかつ力強い新校舎に移ったのは、今年の2月でした。初めて見た時、あまりの奇麗さで別世界にいるような気分さえなってしまう程でした。旧校舎を去る事に寂しさはありましたが、素晴らしい新校舎に入れた喜びは、それに劣らないものがあります。

新校舎で特徴的な部分をご紹介します。

まず、東門には、黒っぽい色の御影石に包まれた大きな柱があります。これが入り口に巨大な空間を作り出していて、登校時には少し厳粛な気持ちになります。

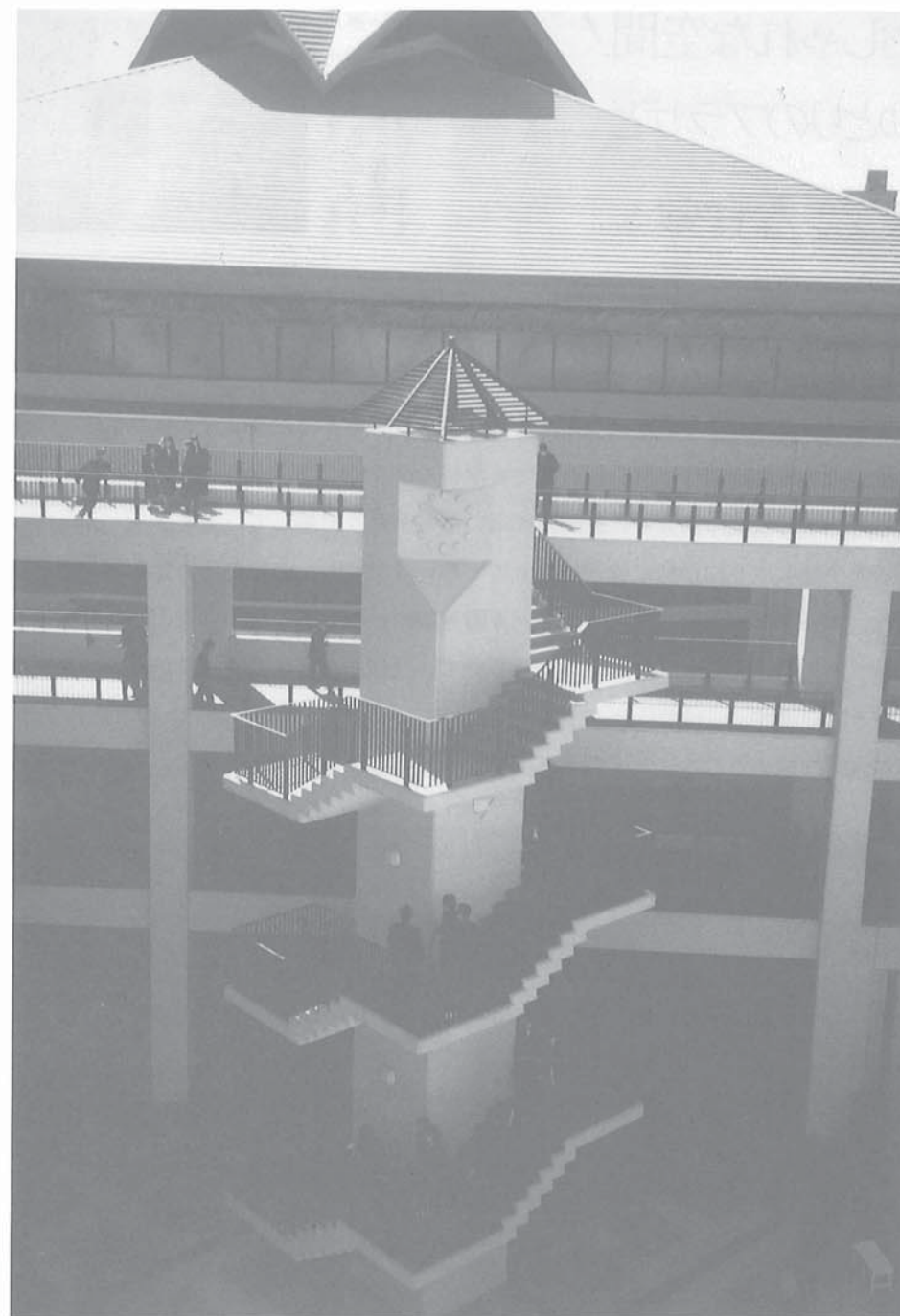
一方、南門も正方形の石が敷き詰められた様になっていて爽やかです。自転車置場は2階建ての物が新設され、全て南門付近にあります。

どちらの門から入っても真っすぐ進むと中庭、すなわちプラザに出ます。この床面



東正門付近の大きな吹き抜け空間。生徒と先生と一緒に、掃除をする伝統は失われていない。

新校舎は県立校としては全国初の5階建て。総工費約27.5億円。旧校舎時とは建物とグラウンドが入れ替わった形で、騒音問題を緩和。中央の高い吹き抜けが東正門。最上部は同窓会館のホールである。



プラザを見下ろすシンボル塔は螺旋階段と時計台を兼ねる。プラザは校舎のどこからでも見える中庭として、各種催しや憩いの空間に。後ろがオープン廊下と体育館。

おしゃれな空間! ゆとりのプラザと モダンな食堂

ポート、オーケストラ、新体操、手話等新しいクラブも多い。クラブ活動と勉強の両立は学ぶ人の永遠のテーマです。

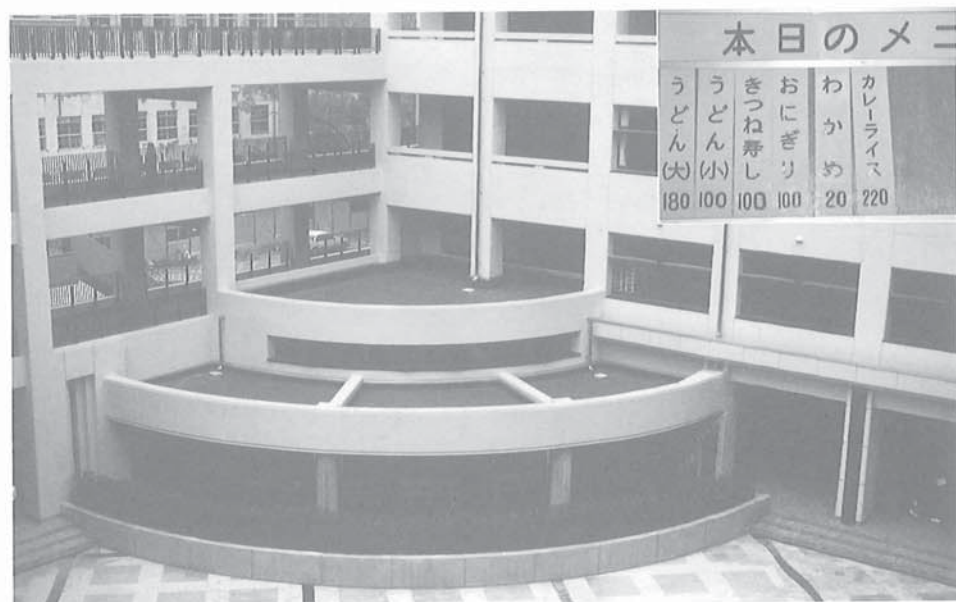


は土ではありませんが、竹や木の植え込みがあって、心に大きなゆとりを与えてくれるスペースです。

プラザの北西方向の隅にはモダンな食堂があります。この食堂は4分の1円、つまり半円の半分の形になっていて、とても学校の食堂とは思えない造りです。人気があって、3時限後の25分の休憩時間にはいつもかなり混雑しています。

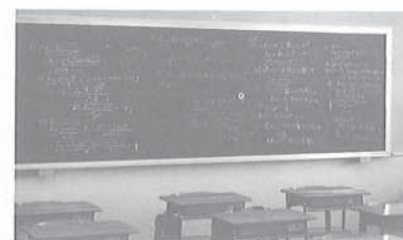
この中庭を取り囲む様に校舎が建っているわけですが、西側の体育館に面している方は、オープン廊下になっています。4階分のオープン廊下を繋いでいる螺旋階段のてっぺんには、おしゃれな時計がついていて、全体的に言って利用度がとても高いだろうと思います。

校舎内で感じるのは、まず廊下が広く通り易い事でしょうか。但し、その分と言っ



中庭に突き出したユニークな食堂はカフェテリアといったおもむき。ただし、メニューは20年来変わらず、格安のお値段。

ハロー！新校舎



勉強は高高の伝統です。それにしてもこの数式、昔も今もわからない。答案用紙は思い出すだにおぞましい。

ていいのか、教室が少し狭く、人数の多い僕達の世代としては少しだけ辛いですね。しかし、至る所にコモンスペースやメディアセンターといった多目的のゆとりのあるスペースが設けられています。皆のくつろげる場所として重宝しています。

メディアセンターという広い場所の隣には、必ずゼミ室という小さな部屋があります。今後このメディアセンターとゼミ室の有効な使い方を考えていきたいと思います。

忘れてはいけないのが5階の同窓会館です。このホールはじゅうたんが敷き詰められ、天井は高く、本当に素晴らしいものだと思います。こんな場所があれば、社会人になってから高高に戻って来るのも楽しみです。

それから高高の知性が輝く図書館も充実しています。整然と並ぶ数々の本に、落ち着いた木の机。同窓会館同様、じゅうたんが敷き詰められたこの図書館は、申し分な



写真左上・500名収容の玉翠会館ホール。左・同じく玉翠会館の和室(2部屋あり)。ただし、ここで飲食をすることはできない。

床にじゅうたんが敷き詰められた図書館。放課後、あっという間に生徒が集まってくる。エライ。



芸術メディアセンター。生徒が自由に使えるスペースで、後ろはビカソの「ゲルニカ」を生徒たちが模写したものを展示している。

充実した新校舎で 知性輝き、体力向上

いと言っていいでしょう。読書や勉強に、より一層励み易くなりました。

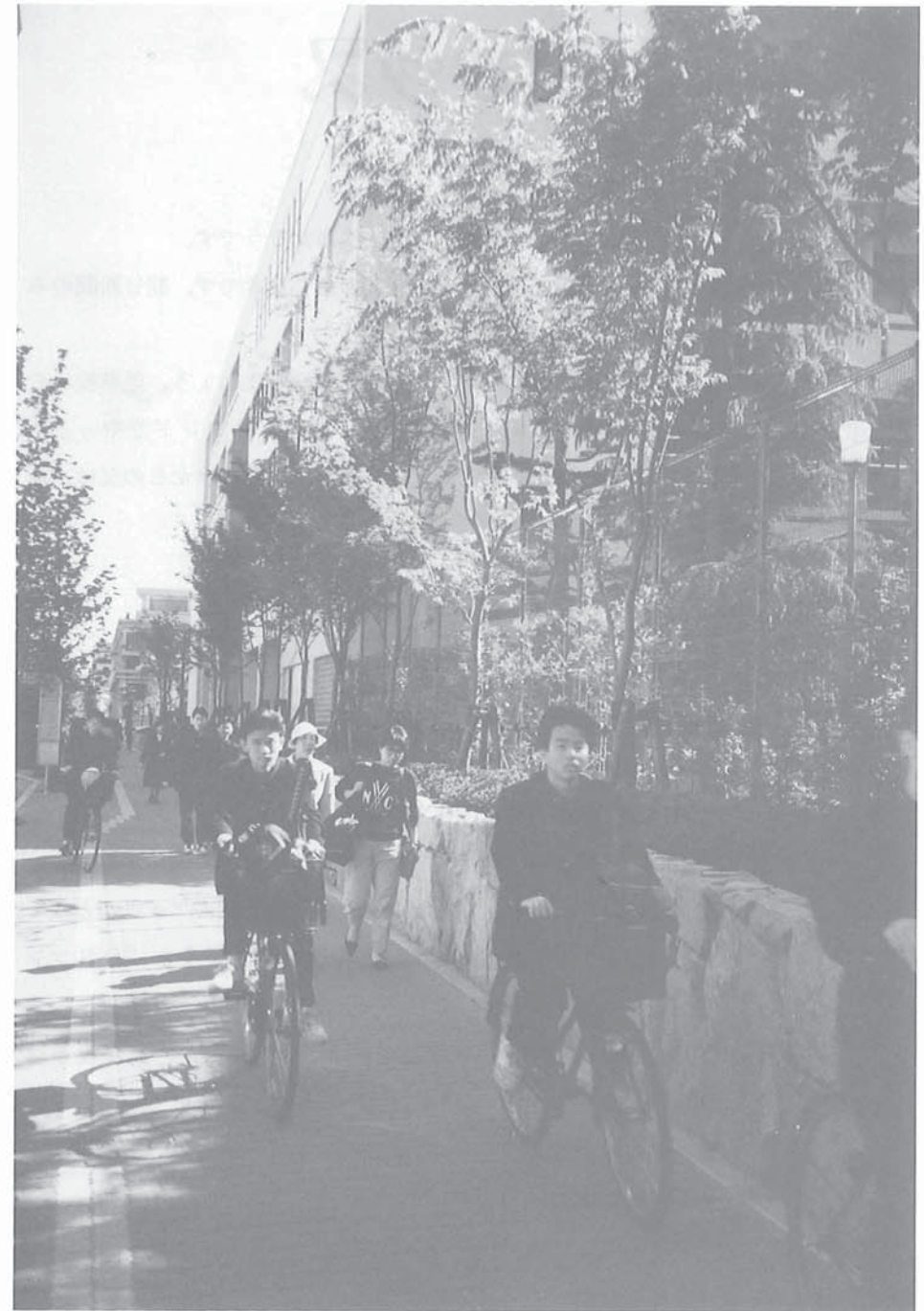
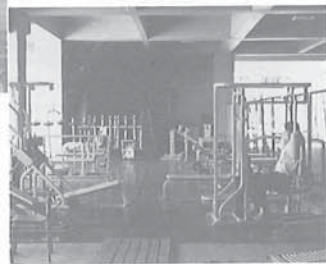
また、オープン廊下の2階と体育館が繋がっているため、体育館への行き帰りがずっと便利になりました。便利になった事と言えば、ウォータークーラーやトイレがたくさん設置された事も喜んでいます。

こうして紹介していくと、この新校舎の良さを改めて実感する事が出来ました。ただ、新校舎は生れたばかりで、そこで生活する生徒達の思い出がまだあまり息付いていません。実際に学校生活を営む僕達生徒が、そこで様々な事を経験し時を共にする事が、この新校舎に味を出していくと思うのです。多くの先輩方が旧校舎と共に高校時代を過ごした時と同じ様に、僕達も、この新校舎に生命を吹き込んで行きたいと思っています。



新しい体育館は2階建て。1階では卓球や武道、2階ではバレーボールやハンドボール等のクラブ活動が行なわれる。ぐあんばれ/高高運動部。

写真右上・雪持笹と校章をモチーフにした新体育館の屋根。右・新体育館1階にある最新設備のトレーニングジム。いい汗かけそう。



新しい正門は東側、総合文化会館側にあるが、生徒は通常南正門を利用する。新校舎に似合うピッカピカの後輩たち。あの頃に戻りたい。

ハロー！新校舎

トピックス

遂に出ました！芝草投手（日本ハム）

苦節3年、初登板で完封、これはプロ野球24人目の快挙だそうです。

右の新聞記事は快挙の翌日（4月25日）の朝日新聞の切り抜きです。朝日新聞のみならず、全ての一般紙に大々的に報道されました。

ところで、何故こんな記事が掲載されたかって？ 何を隠しましょう、芝草投手の父上は我等が高高37年卒なのであります。芝草克久氏、当日、スタンドでやっとめぐってきた子息の晴れ舞台を見つめていました。“自ら宇宙と名付けたこの父は、最高の宇宙ショーを目に焼き付けたのだった”（東京中日スポーツ）

プロフィール

氏名	芝草宇宙（しばくさひろし）
生年月日	昭和44年8月18日
体格	身長 181cm 体重 74kg
球歴	帝京高校ー日本ハム（63年ドラフト6位）

帝京高校時代、昭和62年夏の甲子園の2回戦、対東北高戦で史上20人目のノーヒット・ノーランを記録、甲子園のアイドルとなる。昭和63年ドラフト6位で入団、上総学院島田投手と“SSコンビ”で売り出す。

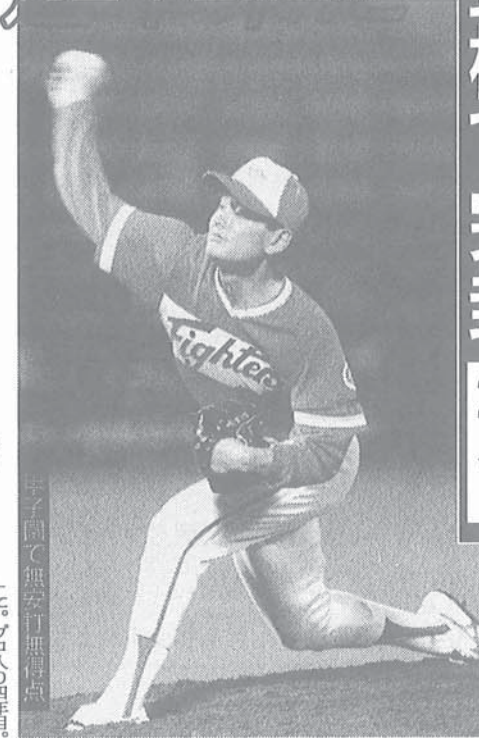
島田投手は2年目で一軍のマウンドを踏んだが、芝草投手はファーム暮らし。

転機は昨年米国教育リーグに参加し、大リーグを夢見る選手達とプレーした事。

最後に負けたロッテの金田監督談

あれだけビュンビュン投げ込んだら年寄りも打てないよ。よくここまで育ったね。

二軍3年 芝草来た



ロッテー日ハム プロ入り初完封初勝利を飾った芝草投手

初登板で完封24人目

芝草宇宙（ひろし）
帝京高時代の一九八七年に甲子園で無安打無得点試合を演じた男が、帰って来

エース候補は突き落とすも… 近藤監督



た。プロ入り四年目。一軍初登板で完封勝利は八八年の野村（洋）以来の快挙である。ロッテには三月十二日のオープン戦で投げ、2回5失点。試合後、近藤監督に

「自分の力を試す場なのに闘争心がない」と愛想をつかさね、即刻一軍へ。二十一日ようやく一軍入りして与えられた大舞台に、「気持ちで負けないように、それだけ考えろ」という。一回から140球の直球で押しまくる。甘い球もあつた。が、ロッテ打線があせんとするまま大胆な投球が勝利を呼び込んだ。三回、一死満塁でペテラ佐藤健を迎えた。直球を2球続けて1-1から、3球目のカーブを引っかけさせて、三ゴロ併殺。六回の一死一、二塁も、4番ティアスを初球のカーブで三ゴロ併殺に切つて取つた。芝草の決め球は何と言つても速球。捕手・田村が「西崎より速かった」と目を丸くしたほど。となる

と、打者は変化球に的は絞らぬ。そこに一見、打ちどころと思われるカーブ。しかし、低めに制球するとは忘れていない。「田村さんのリード通りに投げただけ」と本人は謙遜したが、「打者を見下して投げるだけの自信がなかった」と胸を張ることも忘れてはならない。「オレの方が上なんだ」と言い聞かせていた、という。近藤監督は、「エースになれる投手は、突き放してもはい上がってくるもの」と目を細めた。（安藤嘉浩）

◇川崎	6,000人
5回戦	口3勝2敗
林山	000 001 302 16
ロッテ	000 000 000 10
○芝草	1勝
○小宮山	1勝2敗
ESAVIA	打安点本率
白井一	3 1 0 .367
内島	4 3 1 .438
大島	1 0 0 0 .280
田信	3 3 3 2 .208
川	4 3 1 0 .263
石川	0 0 0 0 .000
指坂	0 0 0 0 .259
中島	5 0 0 0 .188
森	3 0 0 0 .167
廣田	2 0 0 0 .077
村中	4 4 0 0 .220
球	1 1 1 1 .217
球	1 1 1 1 .219
6 6 2 3	1035115
ロッテ	打安点本率
西村	3 2 0 0 .387
藤	3 1 0 0 .211
五十	0 0 0 0 .200
南	0 0 0 0 .303
前山	0 0 0 0 .255
山	4 0 0 0 .275
藤	2 0 0 0 .340
堀	2 0 0 0 .281
伊	0 0 0 0 .000
初	0 0 0 0 .178
福	1 0 0 0 .250
定	1 0 0 0 .281
球	1 0 0 0 .281
球	1 0 0 0 .277
4 5 1 0	72850
投手	回 打安振球
芝草	9 345 45 0
小宮山	6 30 8 4 3 4
野	0 0 0 0 0 0
平	2 14 12 2 2 2 1
ウインターズ	嶋田信
2 白井一	園慶甲
定詰	園平沼 3時間7分

初登板完封勝利投手

1936	藤村山	阪(鏡)
37	富美	(ス)
39	中村	(海)
40	村松	(人)
41	水	(星)
42	廣水	(鉄)
43	石丸	(神)
44	白木	(海)
45	三浦	(映)
46	浮山	(武)
47	小村	(人)
48	森菅	(日)
49	高橋	(津)
50	新野	(大)
51	野	(本)
52	村	(八)
53	高	
54	橋	
55	本	
56	原	
57	美	
58	本	
59	原	
60	村	
61	本	
62	原	
63	村	
64	本	
65	原	
66	村	
67	本	
68	原	
69	村	
70	本	
71	原	
72	村	
73	本	
74	原	
75	村	
76	本	
77	原	
78	村	
79	本	
80	原	
81	村	
82	本	
83	原	
84	村	
85	本	
86	原	
87	村	
88	本	
89	原	
90	村	
91	本	

(朝日新聞平成3年4月25日朝刊より転載)

どおっしょんな

卒業生からの近況ミニレター

★戦後まもなく20歳で、封建思想未ださめやらぬ家の長男と結婚、今年で43年になります。家業のかたわら、18年間寝たきりの舅の世話、姑に仕えること38年。そこは高松高女の徳育の賜物、良妻賢母を演じつつ、老後はやさしい姑となり、孫たちと楽しく暮らすことを夢みておりました。ところが気がつくと、世相は激変、親は親、子は子の世の中となり、老2人細々家業を続けているこの頃です。

しかし、PTAで参加した婦人学級が縁となり社会教育とかかわりができ、長年の学習の延長で、かつて私たちがいつの間にか戦争に協力、加担していたあやまちや、多忙に紛れて無分別にした子育ての失敗などを、若い人たちに繰り返させぬようにと、子育て中の母親たちの学習グループのチューター役や、その結果できた自主グループの、幼児の託児ボランティアを続けています。かたわら立ちおくれた行政へ、保育室付き女性センター設立や、老人ホーム建設のための署名陳情などに駆け回っています。

おかげで大勢の仲間と、他人ではありますが可愛い孫のような子に囲まれ、破れた夢をかこつ暇もなく、老いてなお張り切り毎日忙しにしております。

(小谷文子 20年卒)

〈新校舎ひとロメモ〉

職員室前に仮置きされている石。旧正門付近のメモリアルゾーン完成の晩に、タイムカプセルを埋設した所に記念碑として置かれる。



★奇遇……。北海道へ来て6年になります。今、帯広市の『ながせ病院』の副院長をしていますが、一昨年秋、自治医大からドクターに出張してもらいました。医局でその若いドクターと名刺交換。瀬尾憲正博士。自治医大大宮医療センターの麻酔部長。聞くと京大卒で、昭和42年高松高校卒とのこと。余りの奇遇に驚いてしまいました。「なあ〜んだ、僕の後輩じゃないですか。僕は高中16年卒ですよ」それからは、短い期間でしたが、お互い先輩後輩の懐かしさで楽しく仕事が出来ました。非常に優秀なドクターでした。今年は彼のクラスが幹事の由、きっと大成功することでしょう。再会を楽しみにしています。

(藤沢 喬 16年卒)



★我々の年代は今年の3月で全員が還暦を迎えた訳だが、大半の者が現役で活躍しており、会ってみれば皆顔も声も意外と若々しく元気だ。誠に同慶にたえない。岡内、丸吉という名幹事役を得て毎年2回のクラス会を定期的に開催し、内1回は旧県女の美女たちとの合同コンパとしている。時折はゴルフコンペもやっている。両幹事に感謝々々。会っての話題はともすると老人病や孫のことになりがちだが、やはり回顧談が一番楽しい。学徒動員の思い出、先生方のあだ名や県内各地での分散授業の話など時の経つのも忘れてしまう。我々は高中、県女の最後の卒業生だが、同時に高松高の第1回卒業生も数多くいる。この点が公認されていないのが、不満の種として何時も話題になる。最後になったが、同期の藤本孝雄君の1日も早い国会への復帰を願うものである。

(稲田 直 23年卒)

どおっしょんな

★37年卒には世界のソプラノの林康子さんがいるが、これに続くのが我等のプリマドンナの関口玄子さん。林さんは若くしてイタリア留学し、世界の檜舞台に踊り出たが、関口さんが偉いのは、家庭の主婦業をしていて、4年前に娘さんの大学入試を機会に一念発起し、イタリア留学を決意し実行したことである。高々を卒業し4半世紀を経て、周りの仲間は老眼の話をしているというのに、未だ青春の情熱に燃える関口さんは、我等の希望の星である。現在はイタリアのミラノに在住し、イタリアとフランスでコンサート活動中。年1回は帰国し、日本でのコンサート活動も開始し、高松でも超満員の中でのコンサートを成功させた。今秋には司法試験を目指す一人娘が待つ東京に帰国予定。祈、今後の活躍。 (関口さんの快挙に感激し声援する37会一同)



★私たち昭和23年高松高女卒と、昭和24年高松女子高卒の同期生たちは、昭和63年の春、東京で卒業40周年同期会を致し、大勢の友が集まりました。また平成2年には奈良で還暦記念の会を再び行ないましたが、70数名が集まる盛況ぶりで、40数年の経過を忘れて友の良さを再認識し幸福感に浸りました。私たちが生徒だった時代は、戦争中で十分な勉強が出来ず、その結果いろいろな知識がないなど言い訳をして参りました。しかし、すべての人は各々が持つ才能を十分に発揮しないものであるものです。年をとったからとあきらめず、また面倒だからいやと思わないで、何時までも高松高女と高松女子高卒を誇りに思い、各人がその能力を様々な分野で活用し伸ばしていく努力をし、生き生きと生活したいものです。 (白石昌子 23年卒)

卒業生からの近況ミニレター

★この1月に思いもかけず、痛風に見舞われました。山形県に出張中、ホテルで右足親指に打撲症のような痛みを覚えたのです。痛風とは思ってもよらず、帰京後、友人の医者に電話してたずねた結果、やっと痛風らしいと分かったのです。検査結果は尿酸値も4.2しかなく、幸いにも極めて軽症ですみました。美食とは縁遠く、間食、常時飲酒の習慣もなく、肥満体でもないで、軽症は当然だったと思います。66歳の今まで病気一つしなかったのですが、今回の経験を「余りいい気になるなよ」との戒めとして受けとめ、健康面で自重したいと考えている昨今です。 (辻部俊介 17年卒)



★オリエンテーリング(略称OL)は自然の山野の中で、コンパスや磁石を使って地図上に定められた地点をできるだけ早く回るスポーツです。OLはまた生涯スポーツとして、年齢、性別、経験の有無に関係なく皆で楽しめます。青い空、緑の大地、オゾンがいっぱいの大自然の中を歩き回るOLは、体力を養うと共に判断力、決断力、行動力等を求められます。いつでも気軽にOLを楽しめるよう、各都道府県には常設コースがあるので、ぜひお試しを。私はOLのおかげで着実に若返り、今では35歳代を継続しています。 (東京都OL理事長 東京OLクラブ会長 中山 孝 17年卒)



★高松で過ごした18年間と同じ歳月が、東京に出てきてから過ぎました。今でも年に一度ぐらいは故郷に帰りますが、日帰りだったり、いつも短期間なので、東京玉翠会で皆に会うのを楽しみにしています。昭和57年より、世田谷区深沢で歯科医院を開業していますが、今年で10周年を迎え、忙しい毎日を送っています。高校時代は嫌いだっただけの選挙で、とりわけ今年は年明けから忙しくしています。友人と従業員の家族が立候補しており、4月は票集めのためにあっちこっちへ飛び歩いておりました。 (北村昌敬 49年卒)



過ぎし日の思い出

森 慶太郎

昭和23年高松高校に赴任し、40年に高瀬高校に転出するまで17年間余、本当に長い期間でした。終戦直後の苦勞が今更の様に思い出されます。現在、母校の校舎も新しくなり、面目を一新しました。そして私も79歳を越えました。今こそ過ぎ去りし日を思い、自分を顧みる絶好の時ではないかと思えます。

私は明治45年2月1日生まれ、昭和4年高松中学校卒業後、1年間母校の補習科に入り、5年広大の前身広島高師に入りました。出来れば歴史科に入るべきところ、間違ったと言いましょるか、英語科に入ってしまいました。9年卒業して、現在の広島県竹原市忠海町にある当時の県立中学校に教師となり、16年には通信省航空局の航空機乗員養成所の教官となって新潟から岡山へと移りました。18年に現職のまま召集されて満州に渡り、20年に済州島で終戦を迎えました。この間日本は満州事変・支那事変・そして第二次世界大戦へと突入し、戦争は拡大されました。直接戦場に出かけませんでした、慣れない軍隊生活に心身が疲れ切った状態でした。

20年11月、解除されて高松に帰った時には至る所焼野が原でした。それからどんな苦しい事でもやるぞと決めて、無我夢中で働き、気がついた時には既に40年の月日が経っていたと言っても過言ではありませんでした。

終戦後、四国鉄道教習所に勤務し、23年上記の様に母校に転任しました。混乱の中に悪戦苦闘した事の一部の方はご存知の事でありませぬ。"オーラル・メソッド"とかいう英語教授法を行なってみたり、日本語によらないで英語で考える直読直解などいろいろ試みましたが大した成果もなく、かつまた病気をして長い間休んで皆さんに迷惑をかけたなりなどしました。そして47年津田高校を退職して高松短大に移り、61年まで勤務しました。女子学生ばかりで最初は大変苦勞しました。昔を思い出す時、夢の



また夢の様な気がします。

私は悔いのない残りの人生を終えるため、充分にある余暇を活用して最後の仕上げをしたいと思っております。私はある時期に、国内旅行を試みて歩く事に専念しました。健康増進には歩行が大切だと考えたからです。しかし、歩く事に夢中になって本来の目的の健康を害しました。1年間に100日も旅に出て歩きました。これなどは一種の病気と言って良いでしょう。昔の偉い人が言いました。“過ぎたるはなお及ばざるが如し”とか。そして外国旅行にも出かけました。ロンドンやシドニーではまた例の如く歩きました。ニュージーランドのクライストチャーチではサイクリングもしました。外国では一人で歩くのが楽しみです。或る人が次の様な歌をつくってくれました。

若き日の 愛の道草 たどるごと 異国の旅を 一人楽しむ

旅行の他に、衛生放送の映画も楽しみの一つです。世界の名作を映画化したもので、参考のために題名を挙げます。

第三の男・若草物語・誰がために鐘は鳴る・レベッカ・風と共に去りぬ・印度への道・西部戦線異状なし・怒りの葡萄・明日があるなら・ジャッカルの日・小公子・赤毛のアン等々

毎日を楽しく、かつ忙しく読書・旅行に過ごしています。

最後に、今回の会合の世話をしておられる42年卒の皆さんに申し上げます。本当にご苦勞様です。皆さんとは、私の記憶に間違いなければ、1年余り一緒にいた筈です。

ご盛會を心からお祈り申し上げます。



つれづれなるままに

植田 弘

毎年多数の同窓の皆さんが集まり、先輩・後輩共に楽しく盛大に東京玉翠会が開催されている由、かねがね在京の方々から聞かされ心強く慶ばしく思っています。

思い出の多い高松高校は塩井校長のもと、体育館に続いて、今春新しい校舎も完成しました。エレベーター付同窓会館や生徒と先生のふれあいの場であるホールを持った21世紀を迎えるにふさわしく、また香川を、いや日本を担う高高生の成長の場にふさわしい学校として関係者各位の尽力のもと着々と創られています。古い塀は取り払われ、間もなく懐かしい旧校舎も取り除かれて新しいグラウンドが見られる様になるのが楽しみです。

今日（本原稿執筆日）は春の高校野球で高松東を10対0 コールドで破り、準決勝進出のニュースが出ています。何かにつけて高高生の皆さんが自信を持って地道に努力され、発展していくニュースを聞く事が出来るのは幸いです。

私は退職2年目を終え、早や3年目に入る事になりました。教員生活は満20歳からの40年間でしたが、そのうち高高勤務は昭和34年から56年までの22年間でした。最初は音楽の加藤操先生と1年1組を担当し放送部や生徒指導部に属して、英才の諸君を相手にする事とて非常に緊張して日々取り組んだ事が懐かしく思い出されます。

また、学園紛争期には大学の状況視察や学校の警備など、井上・西村先生等と共に尽力しました。私は生来田舎育ちの野人で、言動共に軽率・粗野な面も多く、皆さんには失礼な事も多々あった事と思います。今から思えば恥ずかしい次第です。ご容赦を！

長い間にはいろいろな事がありました。3年の理進クラスを受け持った1学期の田植の頃です。生徒が家から行方不明になったが、特に理由もないので見つかるだろうと考え、御両親と共に毎日捜しているうちに、学校へ報告しないまま1週間近い日が

〈新校舎ひとロメモ〉
図書室にある「東京玉翠文庫」。これまで寄贈された本は572冊。



過ぎてしまいました。もう今日は、校長に全部報告してと思って登校した朝、「無事帰る」の電話を受けました。ところが、いつの間にいらっしまったのか、後に久保隆美校長がおられて「植田君、良かったね」と言われ、涙が止まらなかった事がありました。思えば校長はチャンと私のあがきを見ておられたのだと思います。

また理学部のA君が作っていた火薬が爆発したり、夏休みの分析実験中に薬品棚が爆発して入れてなかったはずの硫黄が出来て一杯流れ出した事など、今なら全国版のニュースになったのではと思われる事も度々ありました。幸運と、皆さんの助けと協力によって、何とか責を果たせたのは幸せだと思っています。今は亡き西村先生・岡田先生・倉岡先生など皆さんに温かく支えられた事を感謝しています。

私は退職前の3年間、はからずも中部養護学校で障害児教育を経験する事が出来ました。高高生の様な恵まれた人々をより大きく育てるのも大事ですが、障害を持つ子等に生き甲斐や社会参加を勧めるのも大事です。

人は生まれながらにして平等ではありません。能力に恵まれた者から、生きる事だけに精一杯の者まで様々です。ひとり一人が自分に与えられた場で、自分の力一杯に、どの様に懸命に生きるかが問題だと思います。せっかちに金や学歴や地位を追うのではなく、足を地につけて、人間らしく能力一杯に精進する人であってほしいと思います。

今回の玉翠会は、42年卒の皆さんが当番とか、アルバムを見ると懐かしい顔が思い出されます。不惑の年を迎え、それぞれ社会の中堅として働き盛り、また家庭では子育ての最中の大事な時期だと思います。自重自愛されます様に。

最後になりましたが、東京玉翠会の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、ペンを置きます。

寄稿



電話が進化する

守谷健弘 (高高昭和49年卒)

私は大学の修士課程を終了後、NTTの研究所に就職し、今年で12年目になります。電話の音声をできるだけ少ない情報で表現する技術を専門とし、2年ほど前には論文をまとめて、工学博士の学位を得ました。またアメリカにある電話発祥のベル研究所に1年ほど滞在して研究する機会も得ました。10年前に研究を始めた頃には、自分の考えた技術が現実に使われる見通しはほとんどない状態でしたが、数年前から急に携帯電話の開発に欠かすことのできない重要な技術となり、世界一の性能をめざした、激しい技術開発競争の渦中にあります。

さて、ここでは研究所から見える未来の電話について紹介させていただきます。一般の家庭で見える限り、今のところ、電話は100年以上前に発明された電話とほとんど変わっていません。もっとも、既にコードレス電話、ファクシミリ、ポケットベルなどがかなり多くの人たちに便利に使われるようになり、変化の兆しがありますが、21世紀を迎えるまでに2つの方向に進化しようとしています。

一つの進化は携帯電話です。電話は家や職場にあるものではなく、各個人が自分の番号を持ち、ポケットやハンドバッグに入れてどこへでも持ち歩くものになります。電子手帳、腕時計、ラジオ等と電話が合体した商品が次々に出てきて、マイクも兼ねるイヤホンをつけた高校生たちが電車の中や歩きながら、ぶつぶつと喋る光景が見られることでしょう。

もう一つの進化は家庭用の電話で映像やデータを扱えるようになることです。新聞



を見るのも、野球などのスポーツや映画を見るのも、自分の好きな時に自分の必要なものだけを光ファイバーの回線を通じて行なわれます。新聞といっても紙はなく、ディスプレイに表示されるものを操作しながら、ページをめくり、特に興味のあるところはその場でさらに情報を送ってもらうことになります。野球でも、生中継はテレビで見ればいいのですが、東京に住む人が巨人や西部以外のプロ野球や、高校野球の香川県予選を夜に見たい時などは新しい電話が役に立ちます。スポーツ中継録画のメニューの中から選択して、2時間くらいの中継録画番組を30秒くらいで受信し、電話に一時蓄えます。蓄えたものを早送りしながら、必要なところだけをゆっくり見たり、ビデオテープなどに録画するというふうになると思います。もちろん、ふつうの電話として個人同士で話もできますが、声だけでなく、必要に応じて映像やデータなどたくさんの情報をやりとりできるようになります。

いずれにせよ、あふれる情報の中から、自分が必要とする時、必要とするものだけを自分の好みに合わせて加工して使えるようになる傾向が、ますます顕著になっていくことは間違いありません。それには技術やサービスを提供する人たちだけでなく、使う人たちにもアイデアや主体性が必要となります。そして、このような新しいサービスのためにますますあわただしい生活になってしまうのではなく、サービスをうまく使って快適な生活ができるよう、歴史を画する新たな文化をつくっていききたいものです。



50年ぶりの恩師との再会

藤井 勲 (高中昭和16年卒)

恒川実先生に昨年、50年ぶりにお目にかかった。先生は昭和13年10月来高された。横田宗直校長先生のご紹介では、佐世保中学四修で五高にご入学されたそう。昭和16年3月、名古屋高工（現代の名古屋工大）教授になられた。

3年生の時、代数を教えていただいた。時々教科書を離れて、数学余話で時間をつぶされることがあった。黒板に $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ 、 $(a+b)^3 = a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$ 、 $(a+b)^4 = \dots$ 等と書かれ、これらの式の係数の関係を説明して下さり、数学への興味をそそられたものだ。級数のところでは数学者C. F. ガウスは小学校4年生の時、APの和の公式を既に知っていて先生を驚かした話等もして下さったのを今でも覚えている。

昨年、東京玉翠会の前に銀座で先生にお目にかかり、お聞きしたお話を幾つかご紹介したい。

- 高中に赴任して西門近くに下宿した。道を隔てて向かいの家が三原の別邸だった。
- 松島重二先生は姫路のご出身で、東大では私より1年上級生。頭脳明晰な方であった。ところが、大きな交通事故に遭い、腎臓の一部を切除、命が危ぶまれたこともあった。休学して卒業は私より1年遅れた。大学というところは横の連絡が悪く、私が高中に来て松島先生がおられたので驚いたものだ。
- 昭和6年頃、梶原英夫氏が一高にいた時、一高と専修大学の野球試合を見たことがあった。如何に高校が強くても、大学には歯が立たないだろうと思って見ていると、

梶原一人にキリキリ舞いさせられて専修大学が敗れた。その時、野球が上手であれば一高へでも入学できるのかと思った。（この時私は梶村伊太郎先生が「梶原英夫のように勉強はすぐれ、運動もよく出来る恵まれた生徒は今までに見たことがない」とおっしゃったこと。また昭和37年か38年頃、福田元首相が『サンデー毎日』に「高松中学の梶原投手を何としても一高に迎え入れようと、自分が留年するのものとわず梶原の勉強の面倒をみた一高生がいた。昔は一高にはこういうサムライがいたものだ」と語っていたことも思い出した）

○昭和63年瀬戸大橋を見物に行ったが、今度高松に行ったら是非『四国村』を訪ねたい。

○津坂先生が碁の大家とは思いがけないことだ。今度同窓会でお会いしたら、将棋・連珠など教えてもらいましょう。

昨年初めて東京玉翠会に出席された恒川先生は、次のような感想を寄せて下さった。お目当ての津坂先生にお会い出来なかったのは残念でしたが、沢山の卒業生諸君と50年ぶりの対面を果たし、大変楽しい一夜でした。それに大輪のリボンをつけ壇上に立ったことは生まれて初めてのこと。また思いがけず平井知事と逢い、親しく言葉を交わすことができたのは大収穫でした。ところで貴君のすすめてくれたさぬきうどん、思いのほか旨くて2杯も食べられ、食欲不振の小生としては大変うれしいことでした。



寄稿



short story 「グッスリ」

河江一仁 (高高昭和26年卒)

“Did you have a グッスリ last night?”

高松は駅前のホテル。朝のエレベーターの中で、西洋人に同行していた日本人が日本語を交えてこう言った。なかなか粹な言い回しである。相手もそれが分かるのか、“Yes, I did. Thank you.”

人ごとながら、あ〜、良かったな〜と思う。遠い異国でグッスリ寝られたということは目出度いことだ。

シドニーでモーターインなるホテルに泊まったことがある。言うなれば車庫付き木賃宿だ。木賃宿だから立派ではない。調度品を見れば分かるが、すべてがやっどもの役に立つ限界を保っている。

夜10時頃になって腹が減ってきたから、ルームサービスでもしてもらおうと電話器を見ると、ダイヤルの周りにはレセプション… だの、オペレーション… などと書かれているのだが、そこが木賃宿の悲しさ。プリントが剥げてしまってよく読めない。それでもよく見ると Roo …… ce というのがある。他に該当するものもないから、多分これでよかろう… と、勇気を出してダイヤルを試してみた。

呼び出し音に続いて相手が出た。女性である。ところが、いきなり「クリーニング」と、来た。「クリーニング…？」私はおうむ返しにこう言った。あっ、いっけね〜。ルームサービスの積もりが、クリーニングに掛かっちゃった〜。

2〜3秒の不気味な沈黙……。その間に私はこう考えた。そもそもクリーニングとは和製英語である。本当は laundry のはずだ。…ということは、今の電話の声は何んと言ったんだろう？

ややあって聡明な(?) 私は謎を解いた。あれは Good evening だったのに違いな。それを、これで大丈夫かな〜などと思いつつダイヤルをしているから、そう聞こえたのだ。



実は手のうちを明かすと、私はそんなに英語が達者ではない。従って、受話器を取る前に予めメニューをじっくりと調べ、文章を一旦紙の上で作成し、二〜三度声まで出して練習をしておいたのだが、そんなものはこの沈黙の間にすっかり空へ飛んで行ってしまった。

電話の向こうでは、こちらが「クリーニング」とだけ叫んだ後は何も言わないものだから、シビレを切らして、

“Hello! Hello!”

と、ガナリたてる。そのうちに脂汗が流れ、まぶたの裏では星がチカチカ…。しかし、何か言わなければならない。そこで、私は受話器に向かって大声で言ってしまった。

“ANO~, MOSHI-MOSHI~!”

立場が逆になった。今度は相手が沈黙した。

その晩はやっと食にありついて翌朝は早目に起き、今度は一階のレストランへ行って食事をして、約束の時刻にはロビーで迎えを待った。正確な時刻に迎えの人がドアを開け、手を振りながら近づいて来た。

“Hello! Mr. Kawae! Good morning!”

“Hello! Good morning Sandie.”

“Did you have a good sleep last night?”

“Yes, I did. I had a good sleep last night. Thank you.”

私は何のわだかまりもなく、流暢に受け答えをした。

グッスリ… が good sleep の聞き違いだったことに気が付いたのは、それからずっと後のことである。



偶感「老後三要」

横田信應（高中昭和17年卒）

昨年の正月、高中の同窓会で66歳の熟年老人十数名が集まった。「60歳は還暦、70歳は古稀、77歳は喜寿、88歳には米寿、90歳は卒寿、99歳には白寿等という立派な呼び名があるのに、66歳には何もない。『祿寿』というのはどうだろう。『祿』には『天から与えられた幸せ』という意味がある。第2の停年も終え、子育てや経済活動から開放されて、真に自分の余生を楽しむ時期という意味だ」と説明すると、みんな同感で「大いに老後をエンジョイしよう」ということになった。今年の年賀状には「自分ばかり楽しんで申し訳ないので、少しばかり人様を楽しませるように心掛けよう」と呼びかけた。少しは進歩している訳だ。

男の平均年齢を75歳とすれば、我々の平均余命は後13年位しかないことになる。それも、13年確実に生きられるという保証は何もない。「死ぬまでに何が出来るか」を考えると、甚だ心許ない話である。

48歳で仏門に入った時は、悟りの一つでも開けたら、と秘かに考えたものであるが、今はそんな切実な欲望もない。「何れ近く成仏するから、無理することも無いわい。無事は貴人」などと嘯うそがいている自分を、凶々しくなった、と感心する。さりとて、早く死にたいとも、死にたくないとも思わない。修証義の「生死として厭ふべきもなく、涅槃として願うべきも無し」である。せめて死ぬまで元気で、いい往生が出来れば最高であろう。「老後の三要」というのは、今後の生活の三つの大事な心掛けである。相撲でいう「心技体」に相当するものだ。

一、まず「心」は精神衛生で、ストレスからの解放。年が寄ると病苦、死苦、経済苦等の苦勞が多くなる。これらの不安やストレスの解消には宗教がよい。特に仏の教えは苦から解放のために設計されたものだから、特に有用である。読経、写経、写仏、座禅、声明、遍路等バリエーションに富んで奥が深く、なかなかおもしろい。50歳を

〈新校舎ひとロメモ〉

キャプテンシステム。情報化時代に備えて、生徒が自由に操作し、各資料を知ることができる。



過ぎれば、お奨めしたい知恵である。生老病死の諸問題の解決法が身につくだけでなく、うまくいけば極楽往生につながる。諸行無常を感じ始めたら、迷わず仏の道を勉強するのがよい。これは決して坊主の商業ではない。

二、の「技」は趣味や手仕事である。退職後は暇が出来る。下手の横好きで結構だから、何でも好きな趣味を始めるとよい。六十の手習いである。趣味が実益になれば申し分ないが、そうでなくともボケ防止になる。一生懸命やっている間は一時の苦逃れにはなるものだ。

三、の「体」は運動である。心と技だけでは運動不足になりがちなので、ゴルフ、山登り、散歩、スポーツ等何でもよいから体を動かし、特に足腰を丈夫に鍛えて置く。食欲は出るし、安眠快便、血行が良くなり感冒も引かない。寝たきり老人は何の楽しみもなく人に迷惑をかけるばかりで、いくら長生きしても往生は出来ない。

以上の「心技体」の三要を毎日欠かさず日課として実行すれば、無用の老人病などに罹らずに済む。三大成人病の癌や脳溢血、心臓はもちろん、老人ボケや脳硬化のかくれた原因はストレスだと言われる。このストレスをうまく解消すると同時に「心と頭と体」を鍛えて、ほんの少しだけ、世のため、人のためになり、死ぬまで元気で快適な老後を楽しめれば最高である。

こんなこと百も承知、と思われるだろうが、知るとやるのは大違い。道林禅師が白楽天に贈った言葉がある。「三歳の童児之を解すと雖も、八十の老翁之を行ふこと難し」と。「千里之行も足下より始まる」である。素晴らしい老後のために、さっそく今日から始めていただきたい。至心合掌。

寄稿

寄稿

ピラミッドの上で万歳

—アメリカ・メキシコ旅行記—

松本僑子（高女昭和20年卒）

1988年5月、シカゴ行の日本航空飛行機に搭乗する。主人がサンケン電気（株）社長より会長となる区切りの時に、私も出張に同行する。16日間のツアー旅行とは違ったフリーなデラックスな旅にて思い出深く楽しい時を過ごすことが出来た。私たち年輩者には、シカゴと聞くとギャング映画の街というイメージを持っていたが、なかなかどうして立派な近代的な街だ。摩天楼が林立し、シャーズタワーなどはアメリカの高さを誇る。

その日、シカゴサンケンUSAを訪問した。冬は非常に寒く、いろいろ御苦労が多いらしい。シカゴ鉄道の駅には歴史があり、なかなか立派である。ミンガン湖に臨む美術館には、有名な画家の油絵がたくさんある。それから出張所から格上げとなった埼玉シカゴ支店を表敬訪問する。

次はニューヨークに行く。私は初めてであったので珍しく自由の女神も船にて見物し、プラザホテルに泊まる。街は小さいが、ゴミが散乱し汚ない。その日はお祭りだったので五番街の店は休みが多く、買物は余り出来ず残念だった。夜は埼玉支店長と稲ぎくで日本食を食べ美味しかった。

翌日、飛行機でハートフォード空港に着く。シェラトンホテルに荷物を解く。今回の旅行の目的であるサンケンエレクトリックAIRPAXの社長夫妻宅を訪問するため、緑の多い静かな田園風景を抜け、1時間足らずでチェッシャー工場に着く。工場を見学して、少し離れた社長宅を訪問する。奥さんは気さくなチャーミングな方で、東洋的趣味のインテリアはセンスがよく、居心地がよかった。漆器の菓子鉢をプレゼントして喜ばれた。夕食は小川の^{ほと}辺りのレストランで会食をする。副社長の奥さんが野の花を花束にして下さり、何気ない心遣いが嬉しかった。

空路ワシントンへ。6月とは思えぬ30度を越す暑さに驚く。ポトマック川を通り、ウィラードインコンチネンタルホテルへと向かった。重厚な建築には目を見張るものがある。ホワイトハウスを見て、公園では遅咲きの八重桜の花びらを拾ったり、鴨を

メキシコ太陽の丘ピラミッド。



見ながらのんびりと散策を楽しみ、夜はシーフードレストランで大きいロブスターを賞味。翌日は昨日とは打って変わって涼しくなった。アーリントンでは、絶えることなく灯が燃えているケネディの墓を参拝する。無名戦士の墓では、海兵隊衛兵がずっと交替で見守っている。

空路マイアミへ。主人は外国旅行の折には必ず日程の中に未知の国を入れることにしており、以前、リヒテンシュタイン、モロッコ、ポーランド等に行ったが、随行の方にも喜ばれたようである。今回はフロリダまで足をのばし、太陽の^{きら}きらと輝く空港に着いた。リラックスしたリゾート気分で車中の人となり、アリグザンダーホテルへ向かう。スイートの部屋は広くて申し分ない。ホテル内のレストランには一風変わったワニヤカンガルーを使った料理もあるとか。ドレスアップしたレディたちが多く華やぎのあるディナーを楽しむ。翌朝ホテル裏のビーチで美しい貝殻を拾う。リゾートホテルの林立する景色を眺め、アメリカの東の端まで来たという感じを強くする。

グレープフルーツの美味しかったマイアミを後に、メキシコシティへと飛び立つ。先に大地震があり、まだそのままの建物も多く見られた。大通りは立派だが、少し裏通りへ入ると汚く、貧富の差を痛感。メキシコまでは遠くて訪問する人も少なく、埼玉所長さんより大歓迎をうけ、いろいろと見物をする。

国立劇場ロイヤルボックスで民族舞踊を観賞。衣装が綺麗であった。郊外で舟遊びを楽しむが、行き交う舟が飾られて民俗的でおもしろい。街中を見物して歩くが、見る物すべて珍しく、メキシコ政府官邸には制服に身を固めた女性警察官が護衛していた。近くのパブレストランで休憩。大きなデコレーションケーキがたくさん飾られていたので賞味したが、非常に甘かった。大寺院では、崇拝者が多く^{ひざまづ}跪いて参拝していた。日曜日だったので、教会では民族衣装を着た子供たちが広場に集まっていた。可愛かったので、思わずシャッターをきる。

夜は荘園風の高級レストランへ行く。花の咲き乱れる前庭で食前酒を飲み、ディ



メキシコ郊外で舟遊び。

ナーを楽しむ。その後警察官付きでマリアッチ広場へ行く。いろいろな楽器を持った音楽家が私たちを取り囲み、日本の歌も交え上手に演奏し、歌ってくれた。

翌朝、テオティッカンの遺跡に行く。コチニールで染めてあるので、石は今でも赤く鮮明であった。太陽の丘ピラミッドに登るが、空気が薄いのでゆっくりと足を運ぶ。日本から持参したブランデーとおつまみで、総勢5名で乾杯、万歳をする。朝早いので観光客も少なく、メキシコの空を思う存分見渡すことができた。大きいうちわサボテンや、テキーラ酒の材料の龍舌蘭など、とても見事であった。

午後は土産品を買い物する。手作りの民芸品は値段も安く、気に入った品を幾つか買い求める。4日間いたので街の様子もわかった。ワシントンで蚊に刺されたところがその後空気の悪いメキシコで化膿し、包帯を巻いた写真が見られる。メキシコの人々は、毎日が大変だろうと想像される。

パンナム機に乗ってロサンゼルスに着く。樹木に囲まれたシェラトンリゾートホテルの一室に落ち着く。昔わが家に下宿してICUに通学していたアイリンという女性と久しぶりの対面であったが、すぐに打ちとけ懐かしい一時を過ごした。180cmを越す長身であるが、余り変わっていなかった。

旅行も終りに近づき、お疲れ休めでハワイに立ち寄る。年々日本人観光客が多くなり、うんざりである。翌日はマウイ島の一泊観光に出かけた。訪れてみたかったラハイナの町は、予想通り南国の雰囲気漂っていて、なかなかよかった。硝子製のブルーの鯨の置物を買う。マウイには日本人が多く住んでいるのか、懐かしい日本食のメニューがあり美味しかった。砂糖キビ列車にも乗り、子供のような気分となり、おもしろかった。

オアフ島に帰って孫たちの土産品を買い求めるが、メキシコに比べてかなり高い。飛行場に向かう橋の上で、素晴らしい虹を見ることが出来た。楽しかった日々を心に納め、日本航空にて成田へと帰路につく。

新婚さん演歌デビュー

多田英孝（高高昭和55年卒）



大学入学と同時に故郷香川を離れ、東京に来て10年。大学時代にジャズドラムをやっていたこともあって、就職先は博報堂という広告会社にワラジをぬいでおります。

そうこうしているうちに、私も年貢の納め時と相成り、カミさんをお願いになりました。自分としてはひっそり籍だけ入れて…と考えていたのですが、そうはいかず、一応世間並みの披露宴を行なうこととしました。会社の連中にこの件を話すと、「そりゃあーお前、2次会は思いっきり気の利いたことやらなきゃな」と盛り上がる面々に「いやー地味にやりましょ、地味に」と言った私がオロカだった。「バカ野郎、地味な2次会なんて博報堂の名がすたるぜ」と一蹴され、夜更けのバブで2次会の企画会議へとなだれ込んで行くのでありました。

その結果、何と2次会は「夫婦演歌歌手デビュー発表会」に決定。内容は会場に大型スクリーンを設営し、くす玉を割った後にカラオケビデオをバックに新曲を披露し、ご歓談中プロモーションビデオを上映し、お帰りの際に「歌入り&カラオケテープ」をお土産としてお持ち帰り頂くという趣向。曲のモチーフはと申しますと、神田の広告会社に勤める着流し姿のヤクザ者が番傘片手に、神谷町のコンピュータ会社に勤めながらピアノバーで弾き語りをしているチャイナドレスの女に会おうというワケのわからないもので、カラオケビデオにはピッタリの内容。

曲づくりから、カラオケビデオ・テープ制作など、同期の連中は徹夜も辞さず頑張ってくれました。おかげさまで2次会は大受けの中に終了し、我々夫婦は新婚旅行へと旅立ったのでした。

ちなみに、万が一ご希望の方がいらっしゃいましたら、カラオケテープを差し上げます。まだまだ在庫がございますので、遠慮なくお申し出下さい。

寄稿



25年後

和田忠彦（高高昭和40年卒）

4月に同期のS君から電話がかかってきて、「玉翠会誌の原稿を書かないか？」という事でありました。思えば高松高校を卒業し（正確に言えば補習科にもお世話になったのですが…）25年間、お世話になった方々に何一つ便りらしい便りもせず今までできてしまったので、「この機会に一つメッセージを発信しなければ…」という気になり、ペンをとった次第です。

高松を出た後の25年間、何をしていたかと言うと、4年間、京都の大学で法学を修め（？）その後は現場で働いているわけですが、少し変わった事と言えば、その間に2度程ドイツ勤務があった事でしょうか。1回目の勤務は1979年4月から1981年8月まで、2回目は1988年4月から1990年6月まで、通算4年半になりますが、特に2回目の滞在中には例のベルリンの壁崩壊から東欧革命に至る歴史ドラマのまっただ中にいたわけです。それについて書き出すとすぐにちょっとしたレポートになってしまうので、詳しくは立ち入りませんが、要するに社会主義システムではもう人々の欲求に答えられなくなったという事でしょう。

1989年11月9日の「ベルリンの壁崩壊」以前に、既にドイツ系ソ連人・ポーランド人が数10万人単位で流入し、我々も空港などで彼等に出くわす事が少なからずありました。その時疑問に感じたのは、「何故18世紀以前にロシア等へ移住した人々が、今頃ドイツに帰って来るのだろうか？ また現在のドイツ人は彼等を受け入れられるのであろうか？」という点でした。移住の契機は社会主義諸国での見通しのもてない苦しい



生活であったのでしょうし、現在のドイツ人が彼等を受け入れた根拠は、統一をあきらめなかった西独憲法であったのでしょう。

しかし、同時に人間にとっての「故郷」への思いの強さと、現在のドイツ人の価値観の背後に、「二度とナチの過ちを犯すまい！」という反省のもとに「ワイマールの時代からどうやってナチ時代の極端な民族観へ走ったか？」を教えた、「教育」の重味を垣間見たと思います。

高松を出て25年、京都・東京・フランクフルトと、各地を転々とする生活を続けているが故にこんな思いをいたしたわけですが、「故郷」を持たない人間には文化も持てない気がしますし、次世代のために「教育」の目的は今こそもう一度しっかり議論する必要があると思います。現在勤務している銀行は、最近それぞれの地域の社会資本を整備する事を通じ、地域を活性化する事を主要な業務の一つにしています。もう一人の同級生I君は、讃岐の米と水を使った地酒を全国で知る人ぞ知るブランドにする事に成功していますが、彼がその酒をひっ下げ、我々も若干仕事で関係した高松空港を飛び立ち、ヨーロッパ辺りで「酒の文化」を論じる様になってこそ、日本の真の国際化が図られるという気がするのですが……。そういう時代が手に届くところまで来ているような気がします。しっかりとした自分の立脚点を持つI君がうらやましい「25」年ではあります。



JR四国への熱き想い

石井 全 (高高昭和33年卒)

私は国鉄の民営・分割化の際、縁あって昭和62年4月、興銀より我が故郷のJR四国に出向した。草創期の関連事業分野を3年余担当し、昨年6月興銀に復帰した。

まず、JR四国退任間際の昨年6月に社内誌に寄稿した記事をお読み下さい。

タイトルは「四鉄史の二頁」

平成元年6月、当社百周年を記念して、JR四国発足時までの「四鉄史」が発刊された。706頁に及ぶ立派な社史である。皆さん、その中の666頁をお開き下さい。資料編の前、即ち、本文の最後の2頁に旧国鉄時代の関連事業がコンパクトに記述されている。(本文中に占める割合は0.3%)この僅か2頁の中に新生JR四国の新しい息吹がある。

62年4月、JR発足時に新しく関連事業部が誕生した。社史上初めての本格的機構である。画期的且つ将来の経営の一つの方向付けを、内外に明確したものである。即ち、輸送業を中核に据えながらも、当社事業の多角化宣言である。

そして3年が経過した。この間、個々の個人はいろいろな思い・悩み・希望を抱きながら、多くの方々如初体験の事業分野に結集してきた。いわば、素人集団の集まりながら、直営店舗の大増設・広告の直営化拡大・OA機器販売・損保代理業・トランクルーム・コイン洗車場・宇多津スポーツガーデン(ゴルフ練習場・テニスコート・野外アイススケート場)の開業、また自動車事業部も独自に自動車販売を手掛ける等、果敢に新しい事業分野を拡大・拡充してきた。また、地味ながらも機内営業・用地建物等の管理強化・駐車場の整備拡充も見逃せない。「ニュー讃岐丸」も当部に加わり、多彩な陣容となり、更には全社的連携の下で、徳島ターミナルビル(株)等多くの関



連会社が巣立っていった。

振り返ってみれば、この3年間は激変の時期、無からの挑戦の時期でもあった。しかし、感傷に耽っている時ではない。関連事業も緒についたばかりである。平成10年のハードル(明石大橋・島内高速道路網等の完成-JR四国にとって一大ピンチ)を跳び越すためにも、我々は知恵を出し合い、汗をかき、強力なバネ台をつくり上げねばならない。引き続き、未来に挑戦する部を合言葉に、前向きに、明るく生き生きとやって参りましょう! この努力の積み重ねいかんによって、将来、後輩達が編さんする「JR四国〇十年史」に於ける関連事業の頁数も、自ずと決まる事でしょう。今の2頁から〇〇頁へと…。

以上、若干PRめいて恐縮ながら、JR四国の関連事業の一端をお伝えしたかった次第。さて、本業の方も「スポーツカー」感覚の新型特急気動車を投入する一方、メインの高松-松山間の全線電化を工事中であり、間もなく、素敵な小田急線の様なロマンスカーが走る事でしょう。数年後には、徳島駅に十数階建てのホテル等の駅ビルが完成しますが、我が高松駅も近い将来、港を含めた周辺の大再開発により、必ずや、日本で初めて(?)のウォーターフロントスタイルの素晴らしい駅・街に変貌を遂げる事でしょう。「瀬戸の都・高松」の新しいシンボルの出現です。

四国は瀬戸大橋の完成により、確実に変わりつつあります。皆さん、どうぞ、たまには讃岐へお帰り下さい。飛行機で結構です。新校舎の母校を見たら、どうぞ、高松駅へ足を伸ばして下さい。パン屋・小さな花屋さん等々、明るくなっております。

どうか、JR四国に暖かいご声援を!

寄稿



「県女のグラブ」と 少年野球団

三好隆雄（高高昭和33年卒）

小学校3年生の時の事である。母校・恩師・同窓生の名誉のためにも学校名は伏せておくが、高松市内では最も古い小学校が舞台である。春、新しいクラスが編成されて、クラスの野球チームも新たに結成された。2年生の時の実績によって守備のポジション・打順も決まり、補欠3名を含む12名のチームメイトはクラスマッチでの優勝を誓い合った。昭和23年の事で、今の野球とは違って軟式とはいいながら少年野球の黄金時代であった。

春は朝の6時には校庭に集まっての練習。夏休みは、他クラスのチームにグラウンドを独占させないために早朝5時には校庭に集合していた。その頃、高松の中央球場には春先にはプロ球団がやって来てオープン戦を開催していた。青バットの天下弘を擁する東急フライヤーズや赤バットの川上哲治の巨人軍も地方球場とはいいながら、高松出身の三原（高中卒）、水原（高商卒）といったやがて現在のプロ野球の二大主流派を形成する事になる大立者の顔を立ててか、毎春の様にその後も来高していた。そのオープン戦の前に行われる練習を観察する事が、私達のチームの野球教室であった。

当時の全国の野球少年の例にもれず、我がチームの12名は、補欠を含めて全員がプロ野球の選手を目指していた。私達は勉強はそっこのけにして野球野球の毎日であった。今から振り返るとまさに瀬戸内少年野球団の一つであった。

しかし、時代が時代である。敗戦の傷跡も生々しく、野球道具が絶対的に不足していた。中でも9名全員が練習の時に手にしていなければならないグラブ（当時はグローブと発音）、ミットの数が不足していた。他チームとの試合の時には、攻守交替の際に守備位置にグラブやミットを置いて両チームで1セットの道具で足りたが、練習の時にはそうはいかない。革ではなく厚い布製のものであったが、それでも家で買って貰える人は限られていた。食う物もないのにグラブを買ってくれと親に言える様な時代ではなかった。



そして、4年生になった時、あるチームメイトが奇妙な提案をした。ここから本題になるわけだが、「県女」が出てくるのである。現在の高松高校の校舎は、元々が県女（高松高女）のものであり、私達はその校舎を「県女」と呼び慣れていた。「その県女にグラブやミットの材料がある」というのである。たぶん、彼の姉上からの情報だったのだろう。そのチームメイトを先頭に県女に向かったのが6人。私達が高高生の頃（昭和30年代）には自転車置き場に直結していた西門から入って西玄関から3階に上がり、宿直室や用務員室に一番遠い教室に入った。

さて、目標の教室ではクラスメイト達が肥後の守（小型ナイフ）で椅子に張られていたキャンバスの様な布を切り取り、それを仲間の家に持ち帰ったというわけである。そこでは、夜遅くまでグラブとミットを作る作業が続けられた。この作業には12名全員が参加。形取りした布にキリで穴をあけ、そこに布製のヒモを通し、それぞれの家から持ち寄ったボロ布、綿くずを詰めて即製の用具を7人分揃えたのである。この新品のグラブとミットで練習の成果も上がり、その年の秋のクラスマッチではみごとに優勝した。そして5年生になり、またチームメイトはそれぞれ新しいクラスに別れていった。しかし、野球は新しいチームで全員が続けていた。県女のグラブは4つのクラス（チーム）にバラバラに分配された格好になった。

その後、6年生になった時に小学校にとっては思いがけない現金収入の途が開かれた。朝鮮動乱が勃発して、世にいうところの金へん景気が訪れたのである。まだ、至るところに残っていた焼け跡から電線（銅）や水道管（真ちゅう）、鉛を掘り出し、それを当時の小学生としては気が遠くなる様な大金でクズ鉄商に買い取ってもらえたのである。野球少年達はこの金で次々と布製ではあったが、一部には革も使われていたピカピカのグラブを手に入れたのである。

6年の秋、私達の小学生が開校50周年を迎え、その記念式典の後で同じ市内の伝統

ドボクにおいて

渡辺泰充（高高昭和42年卒）



校との交流野球試合が行われた。それまで、当時の占領軍の命令で小学校の対抗試合は禁止されていたのだから、この試合開催は異例といえた。我が校のチームは勿論各クラスのチームからの選抜チームで、相手側も同じ選抜チーム。この我がチームの9名のレギュラーのうち6人までが、小学校3年生の時に同じチームに所属していたメンバーであった。

試合の前の日に私達6名は、最後の合同練習の後で約束をした。新しいグラブやミットになっていても宝物の様に大切にしていたあの「県女のグラブ」を手にして1イニングだけは守備につこうという誓いである。少年時代前期の最後の思い出づくりである。

試合は、当時の国東市長の始球式で始まった。勝敗については残念ながら記憶にない。記憶にないというよりは、一刻も早く忘れ去りたいぐらいの惨敗だった。その試合から3年余り経って、私はその県女の校舎に学ぶ事になった。「県女のグラブ」の仲間の3人も同じ校舎で学び始めた。少年時代の複雑な想いが込められている教室も週に一度は利用する様になった。そして、この校舎には少年時代の苦い思い出の上に思春期の甘酸っぱい思い出も塗り込められていったのである。

■編集後記

本プログラム制作のために、忙しい中、原稿を寄せて下さった方々、また広告でご協力いただいた方々に厚くお礼を申し上げます。そしてプログラムづくりに奔走してくれた42年度の皆さん、お疲れさまでした。仕事の合間や仕事中にせつせとワープロをうち、打ち合わせをしながら酔っぱらい、少々やつれてなんとか完成にこぎつけました。懐かしい校舎はなくなりますが、大人になった仲間と新しい思い出づくりができたことを感謝します。

表紙絵/橋野富彦 撮影とレポート/岡坂孝子先生 渡辺泰充
イラスト/古市芳子 編集/浜野弘 石原美紗子

私が、3K（きたない・きつい・危険）または6K（3K+給料が安い・休暇が取れない・カッコ悪い）の代表ともいわれている建設業界に身をおいて、20年が経ちました。最近では、結婚できない、暗い、を加えて8Kと言うこともあるようです。さて、建設業、特にドボク（土木）は、本当に3Kの代表でしょうか。

この度、土木学会から学生向けのリクルート雑誌が発行されました。題して、「君は・どこへ・ゆくか」。全編カラー、100頁にわたるこの雑誌は新聞でも取り上げられ、なかなかの評判です。私も、元気ある若者の目をドボクに向かせたくて、仕事もそっこのけでこの編集に携わりました。

朝起きて顔を洗う上水道から、それを流す下水道、電力、ガス、交通、通信等々、土木技術なしでは現代人は1分たりとも生活できないのです。それを支えている「燃えるドボク屋達」を紹介するというものです。故郷にUターンしてふるさと創生に取り組む人や、海外工事のプロジェクトマネージャーをはじめ、故植村直巳に続いて日本人として2度目にエベレスト山頂を征服したドボク屋、アメリカンフットボールの社会人リーグで活躍するドボク屋の素顔も紹介されています。こんな、頼もしい仲間や先輩がいるのがドボクの職場。ドボクはこんなにも面白いよ、といった内容です。

高校時代、私達が進路を選んだときは、石原裕次郎の「黒部の太陽」があり、列島改造論もそろそろ出発ようかという時でした。ドボクはカッコイイ職業のひとつであり、「男は、土木や」というムードもありました。

先日、われらが高松高校にも寄贈させていただき、ムードの高まりを期待している次第です。さて、若者諸君！「君は・どこへ・ゆくか」

寄稿

高松中学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正4年9月制定)

作詩 藤井 静夫  
作曲 安田 俊高

あーさひ かがやく やしまやま さざなみ  
よする たまもうら へーいわ みなぎる そのひび  
き せーいき あふるる そのひかり わがまな  
びやにー みちみちて いそしむ けんじ  
1.2. 3.  
いっせんよ せ ひる が へ せー

一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が学舎に充ち満ちて  
いそしむ健児一千餘

二、御稜威と共にいや高く  
朝夕あふぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男児  
ゆめな忘れそそのかみを

三、巖冬霜雪色かへぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中学の健児等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗を翻へせ

# 高松高等女学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原 虎一
作曲 内藤 蝶

みれども あかぬ たまもの うらーち
ひろの そこーにしづーくなるーそ
のしら たまーの うるーはしきーき
よーき ころを みが かむ みが かむを
1.2.3. 4.
とーめ われー あ とーめ われー

一、みれども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
みがかむをとめわれ

二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかにならび立つ
その山松の色かへぬ
高き操を守らむ
守らむをとめわれ

三、開くる御代の幸おほき
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむをとめわれ

四、いや榮えゆく皇国の
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむをとめわれ

高松高等学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西 新太郎  
作曲 芥川 也寸志

con brio (♩=108)

*mf*

せいき—あらたなひにはえて あさぐもにおう  
やしまやま あゝまゆきよき わこう—どが  
こうがくのねん ゆるぎなく はつら つこそ  
1.2. 3.  
る い き を み よ よ

- 一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おお眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
澆刺孳る意気を見よ
- 二、平和かがやく波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おお純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おお希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高松高校の自治を見よ

# 高松高等学校

## 朝日輝く (校友会の歌)

~~~~~\*~~~~~

作曲 荒井 三郎

あさひかがやく やし—まやま さ
ざなみよ—す るたまもうらへ いわみな
ざるその—ひびき せいきあふ—るるそ
のひかり わがまなびやに みちみちてい—
そしむけんじ いっせんよ

- 一、朝日輝く屋島山
さざ波寄する玉藻浦
平和みなぎるその響き
精気あふるるその光
我が学舎に満ち満ちて
いそしむ健児一千余
- 二、厳冬霜雪色変えぬ
紫雲の松を名に負える
我が高松の健児らよ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名誉の旗をひるがえ

寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられています。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

| 年度 | 出版社 | 書名 | 巻数 |
|------|-------|----------------|-----|
| S 56 | 講談社 | 世界動物文学全集 | 28 |
| 56 | 筑摩書房 | 石川啄木全集 | 8 |
| 57 | ライフ社 | 人間と科学シリーズ | 21 |
| 58 | ほるぷ出版 | 体育スポーツ科学選書 | 14 |
| 58 | ほるぷ出版 | 日本の詩 | 25 |
| 59 | 講談社 | 現代総合科学教育大系 | 13 |
| 60 | ほるぷ出版 | 数学マイウエイ | 8 |
| 60 | ほるぷ出版 | 英文「日本大百科事典」 | 9 |
| 61 | 筑摩書房 | ちくま少年図書館 | 100 |
| 61 | 東大出版 | 講座「日本思想」 | 5 |
| 62 | 朝日新聞社 | 「世界の地理」及び別巻付録 | 12 |
| 62 | 河出書房 | 「文芸読本」「自然読本」 | 25 |
| 63 | みすず書房 | 神谷美恵子全集 | 13 |
| 63 | 集英社 | 梅原 猛全集 | 20 |
| 63 | 集英社 | 私の古典 | 22 |
| 63 | 集英社 | シートン動物記 | 9 |
| H 元 | 筑摩書房 | 宮沢賢治全集 | 17 |
| 元 | 小川出版 | 世界各国史 | 17 |
| 元 | 清水書院 | 人と歴史シリーズ | 52 |
| 元 | NHK出版 | 驚異の小宇宙・人体 | 8 |
| 2 | 未来社 | 宮本常一集 | 43 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の古典」 | 10 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の風俗と社会」 | 13 |

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申し上げます。
御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

平成3年6月 高松高校図書館

グッバイ！旧校舎 ハロー！新校舎

—第9回東京玉翠会総会幹事を担当して—



恵比須 忠

母校高松高校は、今年2月に新校舎が誕生し、我々の後輩達が新びんの教室で学園生活のスタートを切りました。第9回東京玉翠会総会が開催されている頃は、私達が学び、思い出深い、そして懐かしく思えるあの校舎が大きなハンマーで打ちつけられ、壊されているでしょう。

総会担当（42年卒）の私達は、第9回総会のテーマとして、旧校舎（今となっては）を形として残そうという事で協議を重ねた結果、以前、ズームイン朝でテレビ放映された「高松高校の謎」にヒントを得て、思い出の多い校舎をビデオに納める事にしました。ビデオの放映は数分間ですので、諸先輩達には喜ばれるかどうか分かりませんが、高中・県女・高高時代の1ページを思い出して頂ければ幸いです。

私達は、昨年秋から総会の準備に取りかかりましたが、何が一番楽しかったかと言いますと、仲間が会議という名目で集まり、議題ソッチノケで高高時代の昔話に花を咲かせ、「ワイワイ、ガヤガヤ」話し、その後、酒盛りをしながら本題に入っていく…。会社生活では味わえない楽しさを得たうれしさ、また、諸先輩や後輩達からのアドバイスや問い合わせによって、「俺は高高生の一員だ」と強く感じられ、大変うれしく思いました。

最後に、総会準備に当りご協力を頂きました皆様、どうもありがとうございました。それから、同期生の皆様、大変ご苦勞様でした。

ありがとう…。

東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 4 名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3 名

(役員を選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会 議

(総 会)

- 第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては、次の行事を行う。
- (1) 会務及び会計報告
 - (2) 会員の親睦を図る行事
 - (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会 計

(会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

第六章 そ の 他

(顧 問)

- 第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

附 則

第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

東京玉翠会役員名簿

| | | |
|-------|-----------|--------------|
| 会 長 | 大 島 功 | (高中 35回) |
| 副 会 長 | 宮 井 仁之助 | (高中 44回) |
| | 松 浦 三知子 | (高女 昭和 4 年) |
| | 多田野 久 | (高高 昭和 25 年) |
| | 永 野 精 子 | (高高 昭和 27 年) |
| 常任幹事 | 乾 浩 三 | (高中 43回) |
| | 木 下 薫 | (高中 44回) |
| | 辻 部 俊 介 | (高中 47回) |
| | 大 西 實 | (高中 54回) |
| | 前 田 フ ミ | (高女 昭和 8 年) |
| | 岡 式 子 | (高女 昭和 11 年) |
| | 東 原 武 子 | (高女 昭和 13 年) |
| | 相 澤 輝 子 | (高女 昭和 17 年) |
| | 和 波 良 子 | (高女 昭和 20 年) |
| | 藤 井 富 弘 | (高高 昭和 26 年) |
| | 久 保 醇 治 | (高高 昭和 27 年) |
| | 井 関 賢 治 | (高高 昭和 29 年) |
| | 近 藤 和 彦 | (高高 昭和 30 年) |
| | 宮 武 敏 夫 | (高高 昭和 31 年) |
| | 三 宅 貴 子 | (高高 昭和 33 年) |
| | 三 崎 屋 義 正 | (高高 昭和 34 年) |
| | 星 野 正 信 | (高高 昭和 38 年) |
| | 末 包 昭 彦 | (高高 昭和 40 年) |
| | 岡 正 晶 | (高高 昭和 49 年) |
| 事務局長 | 大 西 昭 一 郎 | (高高 昭和 33 年) |
| 監 事 | 戸 羽 忠 臣 | (高中 51回) |
| | 内 田 信 子 | (高女 昭和 16 年) |
| | 鴨 田 昭 代 | (高高 昭和 34 年) |

祝

第9回東京玉翠会総会

~~~~~

第9回東京玉翠会に

ご協力有難うございました

物品等御寄贈戴いた方々

(50音順・敬称略)

株式会社 香川銀行  
兼松株式会社  
キヤノン販売株式会社  
金商又一株式会社  
サッポロビール株式会社  
株式会社 四国新聞社  
株式会社 資生堂  
株式会社 タダノ  
日本ハム株式会社  
平川音響株式会社

——— 幸せな食創り ———

# 大河への挑戦!

「食」に対する欲求は、人間の欲求のなかでも、とりわけ根源的なものだといえます。

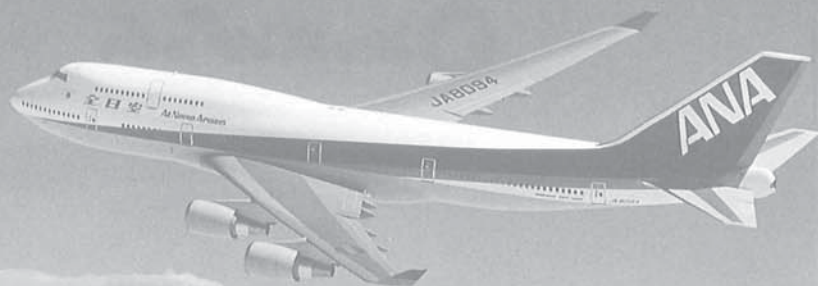
この欲求の進化に伴う食生活の見直しや本質の追求は、  
文化という形になって私たちの生活を潤しつつしてきました。

この食生活をあらゆる側面から応援し、幸福な生活づくりのお手伝いをする。

これが、日本ハムの提唱する、「幸せな食創り」です。



# Dreamin'



BOEING 747-400  
**TECHNO-JUMBO**

すべては、新次元の空の快適をお届けするために。私たちは、最新鋭ボーイング747-400「テクノジャンボ」を導入いたしました。この地球の青空を、もっと自由に、もっと愉しくさせる空間へ。それがANA's DREAM。その実現にむけて、つねに動き続ける私たちです。

**ANA** 全日空

ひとは、どこまで自由に、大空を愉しめるだろう。

## 瀬戸内のお魚は「スポーツ魚」 おいしさと元気パワーがいっぱいです!

瀬戸内があなたの町に!!

とれとれの新鮮な魚貝類を  
全国にお届け。

玉翠会会員のみなさまに  
ひと足早くお知らせいた  
します。

瀬戸内海夢ギフト

活ヒラメ、活車エビ  
マダイ、ハマチ  
アワビ、サザエetc



### シーフードかがわ21

香川県漁業協同組合連合会

開発部事業課 TEL (0878)25-0351  
FAX (0878)51-6310  
〒760 高松市北浜町8番25号

パンフレット等をご希望の方  
は右記までご連絡下さい。



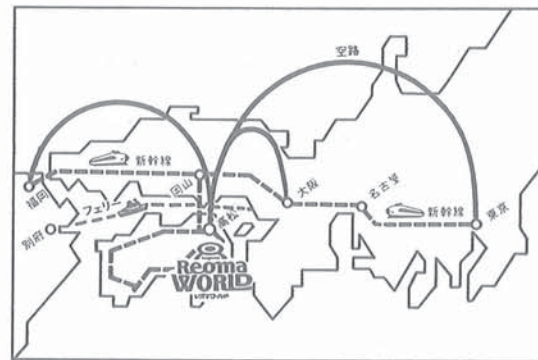
# 森と湖のあるアミューズメント&リゾート

株式会社レオマ

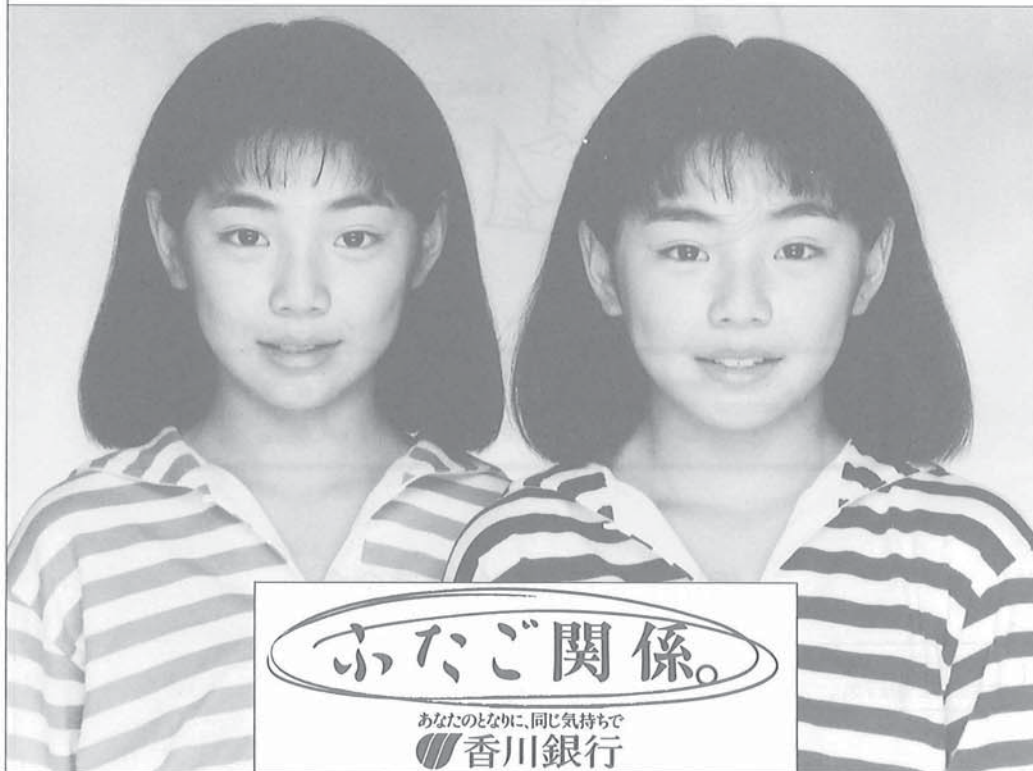
## レオマワールド内 チキンハウス

(浜松町 金比羅経営)

アーリーアメリカン風のインテリアでフライドチキンなど手軽な料理を楽しむことができるファーストフードサービス店



〒761-24 香川県綾歌町栗熊西342-1  
Tel. 0877-86-5555 Fax. 86-4654



ふたご関係。

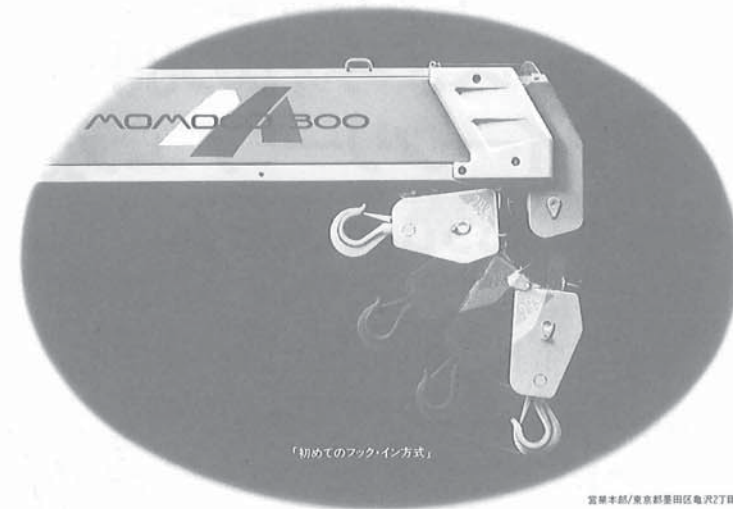
あなたのとなりに、同じ気持ちで  
香川銀行

TADANO

20万人が創った次世代クレーン。Thanks. 200,000



世界初、ワンタッチオペレーション。  
その名は、「MOMOCO」。



「初めてのフックイン方式」

株式会社 タダノ

営業本部/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号 TEL: 03(362)7777(代)

## 祝 第九回東京玉翠会総会

世界の旅 TOP TOUR

TOKYU TOURIST 豊かな感動のステージへ  
東急観光

トラベル インテリジェント センター 銀座

〒104 東京都中央区銀座6-14-8 (恒信ビル7F)  
TEL 03 (3546) 1711(代)  
FAX 03 (3546) 8885

京橋 トラベルセンター

〒104 東京都中央区京橋2-5-21 (京橋相互ビル1階)  
TEL 03 (3561) 9501(代)  
FAX 03 (3567) 5575

小説なんて、絶対にない。  
ゴシップなんて、絶対にない。  
ハダカなんて、絶対にない。  
とことんニュースまみれの80ページ。  
朝日新聞ウイークリー「アエラ」。  
毎週火曜日発売。350円。

編集長 西村 秀俊(高高 昭和29年卒)

●ご購入のお申し込みはフリーダイヤルへ

☎0120-004684

受付/午前10時～午後6時

**AERA**

ニーズに応える確かな技術



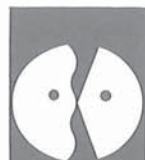
進歩と発展を無限につなげる  
ニイガタ・エンジニアリング

**新潟鉄工**

本社/〒100東京都千代田区霞が関1-4-1

☎ 03(3504) 2 1 1 1

視点、あたらしく、あたたかく



Kankaku  
SECURITIES

**勸角証券**

本店：東京都千代田区丸の内1-6-1 TEL 03(3286)7759

営業網：全国主要都市90店舗 海外：14拠点



株式会社 **岩本組**

代表取締役 藤 沢 恒 代

東京都北区田端2-3-16-101 TEL(03)3823-3161(代)

(財)日本生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷 3-1-1

☎ 03-3409-1111

月に一度はご家族揃ってお墓まいり

選んで安心

**農協のお墓**

製造元 香川県庵治 **中谷石材株式会社**

TEL 0878-45-5006

祝

第9回東京玉翠会総会開催

東京晚翠部会



玉翠会の溜り場  
スナック チロ

例会日 毎第2金曜日

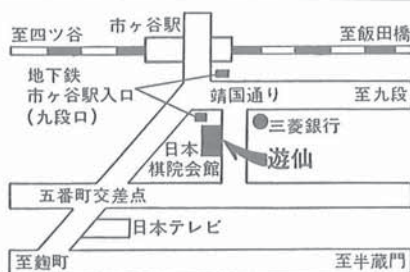
新宿区四谷三栄町16  
TEL 3353-9847



茶寮 遊仙

御宴会、御会合に  
オフビジネスのひとときに  
是非御利用下さい。

東京都千代田区五番町7-2  
日本棋院会館内 ☎ 03(3262)5219



日本塩回送株式会社

相談役 平井健吉  
(高中23回卒)

東京都港区南青山3-18-7 ☎ 03(3403)5471 (代表)

センチュリー証券

取締役社長 野崎博通  
(高中44回卒)

〒103 東京都中央区日本橋本町2-7-1  
☎ 03-3667-0371

岡田輝彦 公認会計士 税理士 事務所

所長 岡田輝彦  
(高中44回卒)

☎ 03(3263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麹町1丁目3番地 (麹町1丁目3番地ビル)

南海プライウッド株式会社

代表取締役 丸山修 (高中45回卒)

本社 ● 高松市松福町1丁目15番10号 ☎ (0878)51-1091 (大代表)

日立造船株式会社

取締役社長 藤井義弘  
(高中48回卒)

〒554 大阪市此花区西九条5丁目3番28号  
TEL (06)466-7500 (代表)  
FAX (06)466-7576

さまざまなニーズをソフトでささえ、ハードで応える

極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

■防食加工 ■工業用ゴム・合成樹脂 ■配管機材 ■各種産業機器 ■公害防止機器 ■装置設計施工  
本社 東京都港区新橋5-10-5 ☎ 03-3433-4761  
大阪支店・中部支店・鹿島営業所

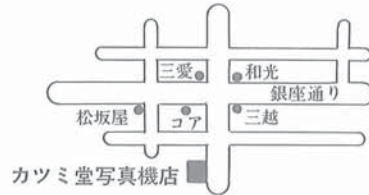
## 株式会社 カツミ堂写真機店

(藤本節子 昭和19年卒)

〒104 東京都中央区銀座5丁目9番1号

日曜・祭日営業

☎ 03(3571)0468(代)



カツミ堂写真機店

## 藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘

(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階

TEL 3431-2267

3431-2304

FAX 3431-2365

## 東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三

(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)

TEL 03(3563) 6271(代表)

FAX 03(3563) 6278 〒104

大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)

TEL 06(222) 2861(代表)

FAX 06(222) 2863 〒541

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社史等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 3433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社

〒105 東京都港区芝大門1-1-21

井関賢治(高高29年卒)

粟田俊彦( )

## 近藤和彦会計事務所

税理士

近藤 和彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F

☎ 03-3835-0025



観光小旅行に…ジャンボタクシー, 花嫁さんには…ブライダルカー

## 日新タクシー株式会社

本社/〒760高松市天神前9番12号 ☎(0878)61-2344(代)

代表取締役 古竹 久雄 (高高30年卒)

常務取締役 藤沢 晶 (高高38年卒)

## フジカナ工産業(株)

代表取締役 矢野 裕

(高高30年卒)

東京事務所

〒102 東京都千代田区三番町5-14 サンハイム三番町501

電話 03(5275)3131 FAX 03(5275)3133

## 足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮武 敏夫

(高高31年卒)

〒100 千代田区大手町2-3-6

タイム・ライフビル

☎ (3270) 7461



# 神原薬業株式会社

代表取締役社長 **神原 博** (昭和31年卒)

本社・高松営業所 高松市勅使町761-1  
〒761 電話(0878)67-3333 FAX(0878)66-0307  
愛媛本部・松山営業所 松山市高岡町81-1  
〒791 電話(0899)73-7777 FAX(0899)71-5034  
善通寺営業所・新居浜営業所・今治営業所  
宇和島営業所・大洲出張所

矯正歯科

渋谷・道玄坂

## 山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 **山田 勲** (高高32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

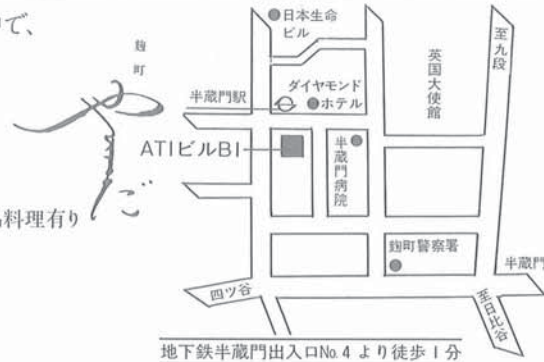
☎3464-1166(代)

麹町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

- 営業時間 11:30 AM~ 2:00 PM  
5:30 PM~ 11:00 PM  
日曜日・祝祭日・休業
- 昼定食 1,000円~
- 夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麹町1-8 ATIビルB  
PHONE: 03-3221-0505

**山田 勲** (高高32年卒)



地下鉄半蔵門出入口No.4より徒歩1分

○不動産業務  
三井不動産(株)会々員

○土木資材各種販売、施工  
三井石油化学工業株式会社 代理店  
三星産業株式会社 代理店  
日本ネトロン株式会社 代理店

〒101 千代田区神田平河町2 大興ビル4F

## 東洋プロジェクト株式会社

代表取締役 **大熊 伸**  
(高高34年卒)

TEL 03 (3864) 8864

# 西川紀男法律事務所

弁護士 **西川 紀男**  
(高高34年卒)

事務所 港区赤坂3丁目2番6号 バゴダビルディング6階  
☎ (3587) 1841 (代)

一級建築士事務所

## 株式会社 シバ設計

所長 **柴原 力**  
一級建築士  
(高高34年卒)

事務所 渋谷区道玄坂1-15-3-319  
☎ 3476-4371 (代)

## CAP キャピトル航空サービス株式会社 CAPITAL TRAVEL SERVICE INC.,

〒162 東京都新宿区住吉町1番11号OSKビル202号  
電話 03(5379)5371(代) FAX 03(5379)0640

専務取締役 **森川 伝** (高高35年卒)

出張、留学、招待、割引航空券、まずはご連絡下さい。

- 渡航手続の一切の代行
- 海外旅行の企画、相談及び見積り
- 航空機、船舶、外国内鉄道、ホテルの手配と予約
- 各種パッケージツアーの取扱い
- 旅行傷害保険の取扱い
- 外国人の日本国内旅行斡旋
- 国内航空券の取扱い

# Swing

# Hertfull Golf

ゴルフ会員権売買、ゴルフコンペ企画、

株式会社 スウィング **藤原 典雄** (高高39年卒)

〒107 東京都港区赤坂3-11-14-604 TEL3588-0261 FAX3505-4113

**株式会社 タイムリージャパン**

- ・マーケティングリサーチ
  - ・セールスプロモーション活動
  - ・各種イベント企画/実施
  - ・各種広告物の企画/制作
  - ・各種ノベルティの企画/制作
  - ・人材派遣サービス  
(一般事務、秘書、キャンペーンガール等)
- 許可番号: 一般13-07-0096

代表取締役 **中野 希行**

(高高37年卒)

東京都渋谷区神宮前1-21-1 原宿ヒルズ2F  
TEL: 03-3479-1601 FAX: 03-3479-8288

**岡崎・大橋・前田法律事務所**

弁護士 **岡崎 洋**  
(高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田淡路町1-9  
ニューお茶の水402号  
☎ 03-3252-6866 (代表)

**前田勇税務会計事務所**

税理士 **前田 勇** (高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号  
市ヶ谷法曹ビル807号  
電話 03(3265)9471番(代)

自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6  
電話 0425(92)7760番

上下水道設計・土木設計・測量調査

**日新技術株式会社**

代表取締役 **恵比須 忠** (高高42年卒)

本社 〒760 高松市茜町15-20-305  
電話(0878)31-0150 FAX(0878)31-0170

東京本店 〒160 新宿区百人町1-6-15ヤナギヤビル  
電話(03)3200-9269 FAX(03)3208-5991

埼玉営業所 電話(0429)52-9860



代表取締役 **竹田 秀道**  
(旧)新日本建築家協会会員  
(高高35年卒)

大阪事務所 〒541 大阪市中央区淡路町3丁目1番5号  
ハynes淡路町ビル10F  
☎06(227)1921(代) FAX06(227)1924  
分室 ☎06(202)4551(代)

東京事務所 〒101 東京都千代田区神田神保町2丁目4番7号  
久月神田ビル7F  
☎ 03(3237)3391 FAX 03(3237)3392

高松事務所 〒760 香川県高松市塩上町3-2-4  
中村第一ビル5F  
☎0878(37)7725(代) FAX0878(37)8432

**海部 医院**

皮膚・泌尿器科

院長 **海部 泰夫** (高々42年卒)  
副院長 **榎本 充邦** (高々46年卒)

高松市高松町2365  
TEL 0878-43-3666

**KOZAI**



明日の郷土をつくる

不動産の活用  
遊休地の利用

建築設計・施工

株式会社 **香西工務店**

代表取締役 **香西 幸夫** (昭和41年卒)  
取締役 **香西 良子** (昭和48年卒)

高松市室町1919の1  
TEL(0878)67-1875(代表)  
FAX(0878)67-1882

新しい石文化に挑む!



ストーンギャラリー原宿  
(〒150)東京都渋谷区神宮前6-28-5  
宮崎ビルB1F  
TEL 03(3409)4114  
FAX 03(3409)4173

株式会社 石の店山田  
本社 (〒761-01)香川県木田郡牟礼町牟礼2899-3  
TEL(0878)45-9333(代) FAX(0878)45-9328



お気軽にご用命下さい

- ★不動産の管理、貸借、仲介及び開発・分譲
- ★損害保険代理店業（特級）

### 帝石不動産株式会社

取締役社長 辻部 俊介  
(高中47回卒)

東京都新宿区西新宿1-13-12  
西新宿昭和ビル  
03(3348)1461

### 日本マンパワーは、 人材開発の専門機関です。

#### 事業案内

- ◎CDS関連各種事業
- ◎通信教育事業
- ◎人材紹介事業
- ◎ビジネススクール
- ◎各種テスト事業
- ◎企業内教育企画事業

#### 人材開発とキャリアプランのマンパワー

取締役社長 小野 憲  
(高高25年卒)



〒107 東京都港区赤坂4-8-14 ☎03-3470-3111  
本社 東京 支社 関西・中部・九州・札幌・広島

### 祝 玉翠会 総会

### 東京麻絲紡績株式会社

取締役社長 植松 武彦  
(昭和31年卒)

本社 〒103 東京都中央区日本橋3丁目3番9号  
(西川ビル3階)  
Tel 03-3273-3031 FAX 03-3274-5104

- 日本橋店 東京都中央区八重洲一丁目三番八号 電話(三三)七四三三〇三番(代表)
- 京橋店 東京都中央区京橋二丁目十一番二号 電話(三三)五八五〇番
- 銀座店 東京都中央区銀座四丁目九番五号 電話(三三)六七一八番
- 田町店 東京都港区芝五丁目三番七号 電話(三三)四四二〇番
- 御殿場店 静岡県御殿場市東田中宇便船番 電話(五五〇)八三二一七三七番

### 後援 茶屋

手打うどんと季節料理の店

### 司法書士 行政書士 松尾和代

(高高42年卒)

#### 事務所

〒254 神奈川県平塚市明石町13番25号

電話 (0463) { 22-3355  
22-3376 }  
FAX (0463) 21-0808

### 税理士 松尾隆信

〒254 神奈川県平塚市明石町25番21号  
小宮ビル2階  
電話 (0463) 22-2223  
FAX (0463) 23-7808

内科・胃腸科・小児科  
医療法人社団準星会

### 山下医院

山下千恵 (旧姓橋川、県女8年卒)

三橋朝子 (旧姓山下、高高41年卒)

〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町国分2155の3  
TEL 0878-74-0077(代)



平井大資 (高高42年卒)

〒760 高松市浜の町4番3号

本社営業所 ☎(0878) 51-8419  
本社営業所 ☎(0878) 51-8421  
FAX(0878) 51-8421

### 多賀電機株式会社

常務取締役 越智 実 (昭和42年卒)

本社 〒760 高松市番町一丁目3番1号  
(多賀電機ビル)  
電話(0878)代表⑤4416番  
FAX(0878) ⑤8380番

### コンプレッサー、スプレーガン 日涉塗料株式会社

代表取締役 二川 正嗣 (昭和42年卒)

高松市朝日新町7-2  
TEL 0878-22-3223

### ジャストサイズのバス旅行 東交バス株式会社

取締役社長 川畑 省三  
(高高43年卒)

本社 香川県高松市朝日新町32番10号  
☎(0878)21-1118  
東京営業所 東京都港区新橋6丁目5番地4  
☎(03)3432-7561

### 三条山下内科医院

院長 山下 和彦  
(高高46年卒)

◆診察時間 月曜8時30分～  
土曜午後1時まで

高松市三条町(青空幼稚園横)  
☎(0878)67-1201

# ツゲ医院

柘植 司郎

(高高47年卒)

香川県高松市川部町1443-1

☎ 0878 (85) 1 4 3 2



讃州うどん屋  
かな泉  
いずみ

# SUPER SELF LOADER



タダノエンタープライズ株式会社  
本社工場/千葉県佐倉市大作1丁目4番1号  
佐倉第三工業団地内 〒285  
TEL (0434) 98-3535(代表) FAX (0434) 98-3540

四国の玄関 高松  
屋島をのぞむ シーサイドコース

18ホールズ  
パー72



## 高松パブリックゴルフコース

高松市木太町4583 TEL 0878-34-1524(代)

木太興産株式会社

代表取締役 石橋 治

高松市木太町4583 TEL 0878-61-4509(代)

(高高29年卒)

ソフトウェアの新世代を創造する  
——リサーチ&ディベロップメント専門企業——

## ソフトウェアジェネレーション(株)

代表取締役 本村 昭二 (高高32年卒)

〒102 千代田区飯田橋1-7-10 山京別館 7F  
TEL 03-3234-5638

《技術者募集中!!》

四国讃岐名物手打うどん

(株)さぬき屋



三嶋満代 (旧姓 篠塚) (高高38年卒)

鴨居駅前店 緑区鴨居駅前ビル内 ☎ (045)934-1813

鴨居店 緑区東本郷団地前 ☎ (045)471-9778

千丸台店 保土ヶ谷区千丸台団地前 ☎ (045)381-3277

成瀬店 町田市成瀬駅前ハイツ ☎ (0427)27-0184

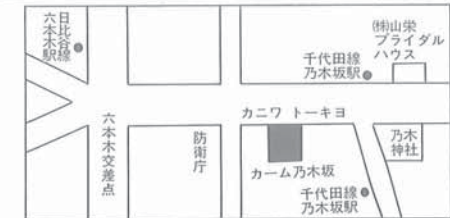
## カニワトーキョ

代表取締役 岩井 耀子

(高高42年卒)

東京都港区赤坂9-6-27 カーム乃木坂

TEL (03) 3401-4509



営業時間 A.M.10:30~P.M.7:30 日曜、祭日は休みます。

## 大嶋整形外科医院

院長 大嶋 照久 (高高42年卒)

香川県香川郡香川町大字大野字亀井1092-1

TEL 0878-85-3611

## 平井眼科医院

院長 平井 健一 (高高42年卒)

高松市木太町6区2559-2

TEL 0878-61-2777

## 珪素産業株式会社

取締役社長 宗本 徳禪

(高中37回卒)

東京都杉並区成田西1-17-8

☎ 03 (3313) 6 5 0 5

——旅行のご用命は——  
   
海外旅行企画株式会社  
TRAVEL PLAN INTERNATIONAL

(運輸大臣登録一般旅行業第44号)

〒107 東京都港区赤坂4丁目9番25号  
新東洋赤坂ビル

電話 03 (3403) 8 1 1 1 (代表)

代表取締役 高坂 篤

(高中51回卒)

財団法人 全電通労働会館

専務理事 久保 醇治

(高高27年卒)

〒101 東京都千代田区神田駿河台3-6

電話 (03) 3219-2211

FAX (03) 3219-2219

全電通本部 (03) 3219-2111(代)

内線 2281




株式会社エイデザインセンター  
〒116 東京都荒川区町屋1-4-9  
TEL:03-3809-0591 FAX:03-3895-5367

代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)





井上美術印刷株式会社  
〒116 東京都荒川区町屋1-4-9  
TEL:03-3819-0821(代)



<p><b>大西昭一郎法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>大西昭一郎</b> (高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区 ☎ 03-3212-0841 (代表)</p>	<p><b>株式会社 東洋鑑定所</b></p> <p>代表取締役 不動産鑑定士 <b>藤本勝巳</b> (高高33年卒)</p> <p>東京都千代田区丸の内2丁目4番1号 丸の内ビルディング349区 電話 (03)3201-1800(代表) FAX (03)3201-4823</p>
<p>シール・ラベル } 製造販売 各種メンバーズカード }</p> <p><b>株式会社 /i&gt;ヤシ</b></p> <p>代表取締役 <b>林 征一郎</b> (高高33年卒)</p> <p>〒104 東京都中央区八丁堀2-1-10 林ビル ☎ (03)3553-1811</p>	<p><b>税理士 山口 修 事務所</b></p> <p>税理士 <b>山口 修</b> (高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13 城北ハイツ205 ☎ 03 (3903) 4111</p>
<p><b>小倉・田中法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>小倉良弘</b> (高高39年卒)</p> <p>事務所 〒160 東京都新宿区四谷2丁目2番地 四谷フジビル3階 電話 03-3355-2268(代) FAX 03-3355-2308</p>	<p><b>雨宮歯科医院</b></p> <p>院長 <b>雨宮高志</b> (高高42年卒)</p> <p>〒191 日野市日野本町2-20-13 日野駅 徒歩3分 TEL 0425-84-3741 ハヨ ミナヨイ</p>
<p><b>耳鼻科 はしもとクリニック</b></p> <p>院長 <b>橋本幸久</b> (高高42年卒)</p> <p>〒252 藤沢市南藤沢20-20 TEL 0466-22-3887</p>	<p><b>中広デンタルクリニック</b></p> <p>☎ 03(3591)5822</p> <p><b>中広 哲也</b> (高高46年卒)</p> 

<p>INAX: タイル・住設機器・ユニットバスルーム 特約店</p> <p><b>MIKI 三木建材株式会社</b> 香川県高松市高松町2171-3 0878(41)2241(代表)</p>	
<p>古都 鎌倉で15年 小町通り 本の <b>目耕堂</b></p> <p>古都散策の折には、ぜひとも お立寄り下さい。 TEL 0467-23-0331 末澤 惇・和子 (高高27年卒)</p>	<p>スナック <b>アイビー</b></p> <p><b>渡辺 浩</b> (高高31年卒)</p> <p>豊島区東池袋1-41-14 ☎ (3983) 2720</p>
<p><b>濱田法律事務所</b></p> <p>濱田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102 千代田区平河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-3221-6261</p>	<p><b>宮武 医院</b></p> <p><b>宮武 治郎</b> (高高32年卒)</p> <p>〒192 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>
<p><b>田原内科医院</b> (高高42年卒)</p> <p>高松市松縄町41</p>	<p><b>HACL 平川音響株式会社</b></p> <p>—テレホンカードの御用命承ります— <b>平川峰子</b> (高高42年卒)</p> <p>〒169 東京都新宿区大久保2-12-12 電話03(3232)3001, FAX03(3232)8110</p>
<p>陶芸 <b>匣</b></p> <p>ご用命を お待ちしています</p> <p>☎157 世田谷区成城9-19-3 ポプラ成城店 ☎(03)3483-8857 (自宅 ☎(03)3484-1719)</p> <p>鈴木(旧姓 後藤) (高高42年卒)</p>	<p><b>祝</b></p> <p>第9回 東京玉翠会</p> <p>高高 昭和42年卒業生一同</p>
<p>INTERIOR COORDINATOR SHOP</p> <p><b>URBAN HOUSE</b></p> <p>代表取締役 <b>奈良崎 稔</b> (高高37年卒)</p> <p>〒760 香川県高松市今新町7-12 ☎(0878)22-3471 FAX(0878)22-1262</p>	<p><b>ヤンマー 農業機械</b> <b>ヤンマーディーゼル</b> <b>ヤンマー建設機械</b></p> <p><b>妹尾農機株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>妹尾博文</b> (高高38年卒)</p> <p>本社 香川県木田郡三木町池戸2843の8 電話 高松 (0878) 98-1525(代)</p>



内科・消化器科・小児科 <b>山田医院</b> 山田 淳智 (高高40年卒) 〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町新居3388 TEL 0878-74-0040(代)	有限会社 <b>角田米穀商店</b> 角田 朝 則 (高高40年卒) 〒760 高松市城東町1-6-5 TEL (0878) 21-4052 自宅 〒760 高松市城東町1-8-1 TEL (0878) 22-7735
弁護士 <b>西山司朗</b> (高高昭和41年卒) 高松市磨屋町6-8 TEL 0878-21-3373	<b>糸瀬無線電機工業</b> 糸 瀬 雄 一 (高高41年卒) 敏 恵 (高高44年卒) 高松・ライオン通り南入口 ☎ 0878 (21) 0922
外科・胃腸科・肛門科 <b>井上病院</b> 井 上 徹 (高高41年卒) 〒769-02 香川県綾歌郡宇多津町大字東分49-7 TEL (0877) 49-1700(代)	 高松・ライオン通り南入口 ☎ 0878(21)0922 堀 上 小枝子 (高高42年卒)
<b>三木会計事務所</b> 三 木 洋 (高高昭和42年卒) 高松市丸の内10-16 電話 0878-22-7809	 <b>フジタ自動車工業株式会社</b> 本社工場/高松市香西東町205-1 ☎0878-81-2161 新潟工場/新潟市津島屋6丁目125番地 ☎0252-75-1387 代表取締役副社長 藤田和久 (昭和42年卒業)
中国料理 <b>平安閣本店</b> 高松三越前 ☎ 0878-22-2525 ひろば平安閣 高松市西内町広場 ☎ 0878-22-2626 北 京 高松市片原町2-8 ☎ 0878-22-2141 陳 和 恵 (旧姓 高) 昭和44年卒	<b>イーグルハウス興業(株)</b> 松 岡 孝 禎 (高高昭和45年卒) 高松市松福町2-17-1 電話 0878-51-6006
郷土の酒 <b>清酒 薬心</b> 醸造元 池田酒造株式会社 発売元 池田酒類販売株式会社	創業八十八年 日本料理 新 常 磐 代表取締役 <b>高 関 忠 三</b> 高松市錦町1丁目18-24 電 話 代表 (0878)21-6131 F A X (0878)21-1581

<b>松本薬局</b> 高松市通町 TEL 51-3210	<b>アカシ工具株式会社</b> 高松市井口町7番地9 TEL(0878)51-0151(代)
<b>オレンジハウス イトウ</b> 伊東 省司 〒760 高松市南新町4-9 ☎(0878)34-5308	<b>讃岐鐵工株式会社</b>
<b>四国牛乳輸送株式会社</b>	 料亭 <b>蝶</b> 〒760 香川県高松市百間町7-7 電話 0878-51-7166(代)

## 平成5年 東四国国体が開催されます!!

東四国国体香川県募金にご協力ください。

40年ぶりに郷土香川で開催される「東四国国体」を、みなさんの力で盛り上げるためにも、「東四国国体香川県募金」に暖かいご協力をお願いします。

■最寄りの金融機関でお取り扱いしています。

■募金の概要

名 称	東四国国体香川県募金
目 標 額	5億円以上
期 間	平成2年3月より平成5年10月まで
対 象	県内外の法人・団体・個人
※寄附金については、税法上の特別措置があります。	





## 『花も嵐も』と 私のための意見広告

わが国の高齢者人口は西暦2000年には2000万人を超え、2020年には国民の4人に1人が高齢者という世界一の高齢社会を迎えることとなります。

総合月刊誌「花も嵐も」は、こうした日本の高齢社会に初めて登場した中高年のための本格的な総合情報誌であり、生涯教育雑誌であります。創刊は1988年4月、草柳大蔵氏が編集顧問です。

私は大川郡引田町の出身。昭和37年、高松高校を卒業しました。文学部を卒業して昨年10月まで23年間、文芸春秋に在籍、この間、月刊誌・週刊誌の編集を担当して、週刊文春デスク時代には「ロス疑惑」に遭遇、はからずもテレビ出演するという奇妙な体験もいたしました。

昨年10月、文芸春秋を退社・独立しましたのは、高齢社会への貢献を最後のライフワークとしたい、と考えたからです。そして現在、「花も嵐も」編集長としてニューフロンティアで奮闘しております。

この雑誌には、高松中学の先輩がふたり関係されております。

ひとりとは高名な写真家の中村由信氏（昭和19年卒）で、誌上写真コンテストの審査を担当、一刀両断の批評は読者の人気を集めておりましたが、まことに残念ながら昨年12月、死去されました。もうひとりとは元読売新聞論説委員で、現在、日本エッセイストクラブ理事長の村尾清一氏（昭和15年卒）。「花も嵐も」に絶妙のエッセイ「今月の言葉」を連載しておられます。

### ●60歳以上の大先輩のみなさん

お持ち帰りの「花も嵐も」をご高覧いただき、いささかなりともご満足であれば、定期購読をお申込みくださいますようお願い申し上げます。

### ●同輩と後輩のみなさん

ご両親がご健在で香川県に住んでらっしゃる方は、ご両親に「定期購読」をプレゼントしてあげてください。毎月、あなたのお名前でお届けいたします。カステラや羊羹を贈るよりはるかに知的な親孝行です。しかも1年間、ご両親に喜んでいただくことができます。

以上、「花も嵐も」のPRをさせていただきました。  
大先輩のみなさん、いつまでもお元気で。  
同輩と後輩のみなさん、ご両親を大事にしてください。

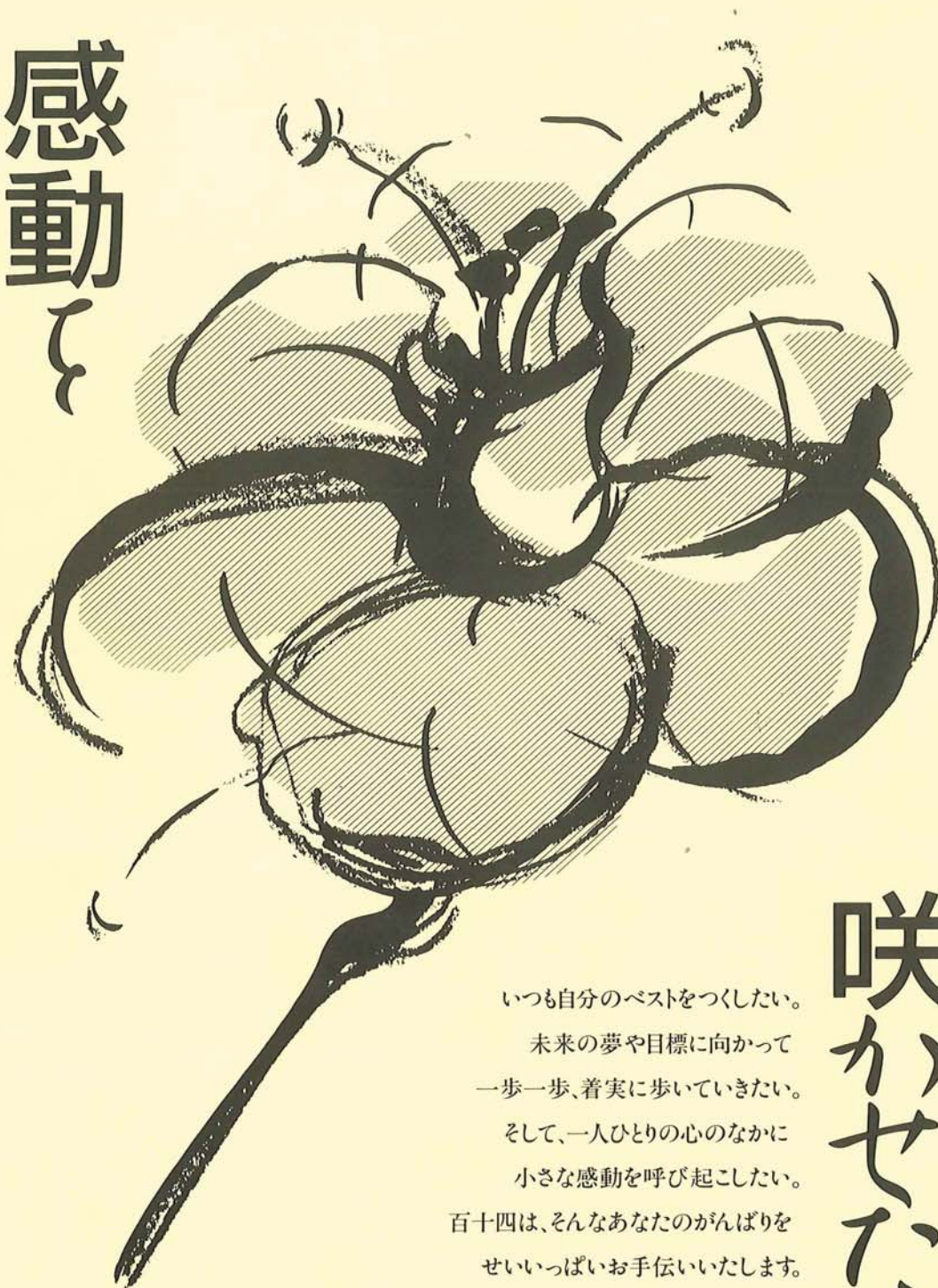
この雑誌は書店販売しておりません(来年4月から書店販売予定)。年間定期購読制です。毎月、ご自宅にお届けいたします。



高松高校37年卒業 **安倍隆典** 株式会社 山河社 代表取締役  
「花も嵐も」編集長

株式会社 **山河社** 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-9-3Sビル  
TEL 03(5474)1230・1231・1232

# 感動



# 咲かせたい。

いつも自分のベストをつくしたい。  
未来の夢や目標に向かって  
一步一步、着実に歩いていきたい。  
そして、一人ひとりの心のなかに  
小さな感動を呼び起こしたい。  
百十四は、そんなあなたのがんばりを  
せいっぱいお手伝いいたします。

## 百十四銀行



ヒトを育むサイエンス  
SHISEIDO

# 毛母細胞は待っている



あなたの毛母細胞は待ちわびています。  
 髪の毛の成長サイクルに着目した  
 不老林アクティブを欲しがっています。  
 さあ、いまこそ育毛の力を。  
 あなたの髪は生えたとがっています。



抜け毛がこわいからといって  
 シャンプーしないのは間違いです。  
 まず、頭皮の清潔から。  
 薬用フロリンシャンプー  
 薬用フロリンヘアリンス  
 (医薬部外品)各1,500円

- 4つのアクティブエフェクトの力
- ① アクティブクリーン  
頭皮を清潔に保ち、フケ、カユミも防ぎ、爽快な清潔持続作用です。
  - ② アクティブモイスチャー  
中国原産、冬虫夏草抽出液(保湿剤)が頭皮のつばりを防ぎます。
  - ③ アクティブナリシング  
より多くの養分を送り、頭皮細胞を活性化させる血行促進作用です。
  - ④ アクティブインヒビット  
育毛を促し、頭皮、毛根の炎症を抑える、抗炎症、脱毛予防作用です。
- アクティブキャリアの力  
 キャリア剤の効果で有効成分を頭皮にいきわたらせる成分波及作用です。

## 4つのアクティブエフェクト 薬用不老林 アクティブ

(医薬部外品) 5,000円・1,300円 冬虫夏草抽出液(保湿剤)配合

表示価格は税抜希望小売価格です。